



BMW Motorrad



Rider's Manual
R 1250 RS

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要な前提条件になります。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

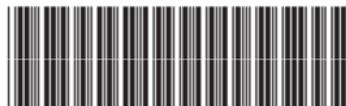
お問い合わせ

本車両について疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 40 9 899 778



目次

1 一般的な情報	5	3 表示	23	電子調整式サスペンション (D-ESA)	68
全体図	6	表示灯および警告灯	24	走行モード	71
記号と意味	6	TFT ディスプレイ		走行モードPRO	72
装備	7	のPure Rideビュー	25	クルーズコントロール	73
仕様(諸元)	7	TFT ディスプレイのメ		発進アシスタント	76
本書の記述について	8	ニュービュー	27	盗難警報装置(DWA)	79
補足情報	8	警告表示	28	グリップヒーター	81
認証および運転許可	8	4 取扱方法	53	オンボードコンピューター	82
データ保存	8	イグニッションスイッチ /		フロントおよびリヤシート	83
2 全体図	13	ステアリングロック	54	5 TFT ディスプレイ	85
左側面	15	Keyless Ride によるイグ		一般的な情報	86
右側面	17	ニッション	56	原理	87
シート下	18	イグニッションキルスイッ		Pure Rideビュー	93
左コンビネーションスイッ		チ	60	一般設定	95
チ	19	ライト	60	Bluetooth	96
右コンビネーションスイッ		ハザードランプ	62	ご使用の車両	100
チ	21	ウインカー	62	Navigation	103
メーターパネル	22	アンチロックブレーキシス		メディア	105
		テム(ABS)	63	TEL	105
		オートマチックスタビリ			
		ティコントロール(ASC)	65		
		ダイナミックトラクション			
		コントロール(DTC).....	67		

ソフトウェアバージョンを 表示する	106	給油	128	ブレーキシステム	153
ライセンス情報を表示す る	106	モーターサイクルを搬送用 に固定します	132	クラッチ	157
6 調整	107	8 技術情報	133	クーラント	157
ミラー	108	一般的な情報	134	タイヤ	158
ウインドシールド	108	アンチロックブレーキシ テム (ABS)	134	リムとタイヤ	158
ヘッドライト	109	オートマチックスタビリテ ィコントロール (ASC)	137	ホイール	159
クラッチ	110	ダイナミックトラクシ ョン		マフラー	165
シフトレバー	111	コントロール (DTC)	137	バルブ	168
ブレーキ	112	Dynamic ESA	139	始動補助	170
フットレスト	113	走行モード	140	バッテリー	171
スプリングプリロード	114	Dynamic Brake Control	141	ヒューズ	175
ショックアブソーバー	116	シフトアシスト	142	診断コネクター	176
7 走行	117	ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)	144	10 アクセサリー	179
安全に関する注意事項	118	9 メインテナンス	147	一般的な情報	180
チェックリストを確認し、 遵守する	120	一般的な情報	148	電源ソケット	180
走行開始のたびに:	120	車載ツールセット	148	ケース	181
燃料補給 3 回目ごと	120	サービスツールセット	148	トップケース	183
始動	121	フロントホイールスタ ン		ナビゲーションシステ ム	186
慣らし走行	123	ド	149	11 お手入れ	193
ギヤチェンジ	124	リヤホイールスタンド	150	ケア用品	194
ブレーキ	125	エンジンオイル	151	洗車	194
駐車する	127			損傷しやすい車両部品のお 手入れ	195
				塗装のお手入れ	196

保護コーティング	196	13 サービス	219
長期保管	196	リサイクルリング	220
再使用	197	BMW Motorrad サービス	
12 テクニカルデータ	199	ス	221
トラブルシューティン		BMW Motorrad サービス履	
グ	200	歴	222
ネジ止め部	204	BMW Motorrad モバイル	
燃料	207	サービス	222
エンジンオイル	208	メンテナンス作業	222
エンジン	208	BMW サービス	222
クラッチ	209	メンテナンススケジュー	
ギヤボックス	210	ル	225
リヤホイールドライブ	211	メンテナンスの確認	226
フレーム	211	サービスの確認	240
シャシー	212	14 付録	243
ブレーキ	212	電子式エンジン始動ロック	
ホイールとタイヤ	213	システム用認証	244
電装システム	215	キーレスエントリー用認	
盗難警報装置	216	証	246
寸法	216	TFT メーターパネル用認	
重量	217	証	248
性能	217	15 索引	251

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
仕様(諸元)	7
本書の記述について	8
補足情報	8
認証および運転許可	8
データ保存	8

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、「概要」の章をご覧ください。「サービス」の章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用の BMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 **注意事項** モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手

入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク。

 仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

- OE オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場
で装着されます。
- OA アクセサリー。
BMW Motorrad アクセ
サリーのご購入および取
り付けにつきましては、
BMW Motorrad ディー
ラーにて承ります。
- ABS アンチロックブレーキシ
ステム。
- ASC オートマチックスタ
ビリティコントロール
(ASC)。
- D-ESA 電子調整式サスペンシ
ョン。

DTC ダイナミックトラクショ
ンコントロール(オプ
ション装備は走行モード
Pro との組み合わせでの
み)。

DWA 盗難警報装置

EWS 電子式イモビライザ
ー。

RDC タイヤ空気圧コントロー
ル。

装備

BMW モーターサイクルのご購
入に際しましては、それぞれお
選びいただいたご希望の装備が
装着されたモデルとなっていま
す。この Rider's Manual では、
BMW が提供しているオプショ
ン(OE) および一部のアクセサ
リー(OA) について説明されてい
ます。そのため、ご使用のモー
ターサイクルには装着されていな
い装備についての説明が含まれ

ている場合がございますことを
ご了承ください。同様に、国別
の仕様により、図示されている
モーターサイクルと異なる場合
があります。

記載されていない装備がご使用
のモーターサイクルに装備され
ている場合は、個別の説明書の
記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重
量、性能に関する情報はすべて、
DIN (ドイツ工業規格) およびそ
の許容差規定に基づいて表記さ
れています。

本取扱説明書のテクニカルデー
タと仕様は基準として参照して
ください。選択されたオプショ
ン装備、国別仕様または各国の測
定方法などの理由により、モデ
ル別のデータは本書と異なるこ
とがあります。詳細なデータは
自動車登録証と車両の注意書
をご覧になるか、BMW Motorrad
ディーラーまたはその他の認定

サービスパートナーあるいは専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術など BMW Motorrad に関する一般的な情報は、www.bmw-motorrad.com/service から入手することができます。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリに対する官庁の使用許可は、www.bmw-motorrad.com/certification から確認することができます。

データ保存

全般

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセン

スナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用した ConnectedDrive ユーザーアカウントなどにより車両で集められたデータによってもドライバーや車両所有者を特定することができます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。

車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場

- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報も保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求することができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求は他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事項には、データの削除や訂正を行う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデータ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存され

たデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法的に定められた車載コンピューター診断装置(OBD) 用ソケットから行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

- ホイール回転数やホイール速度、動作遅延などの車両や個別コンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など。

- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されます。例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整

備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送全般

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えば以下が含まれます：

- ウインドシールド位置の設定
- サスペンション設定

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地

- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USBメモリー、MP3プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端

末機器に特定の情報が伝送されます。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

サービス全般

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介してい

わゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。

サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにするこ

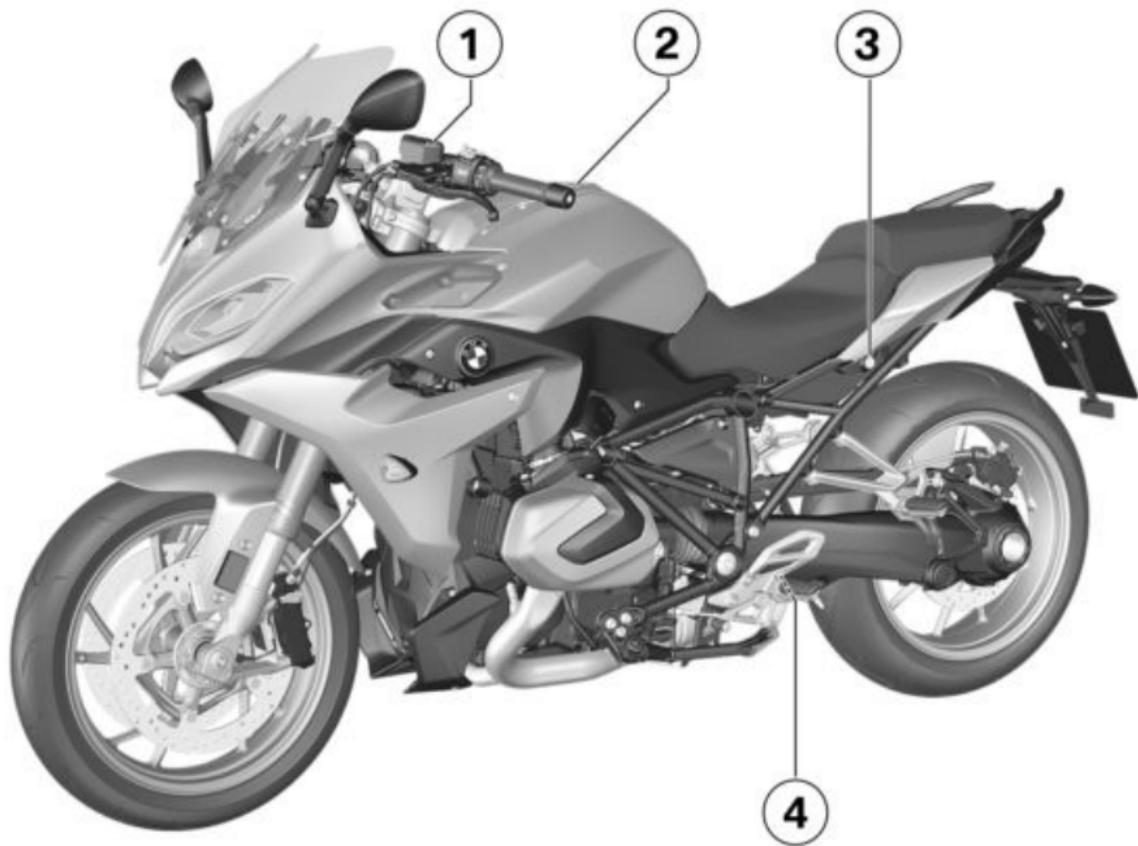
ともできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスは該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護および利用条件に従うこととなります。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

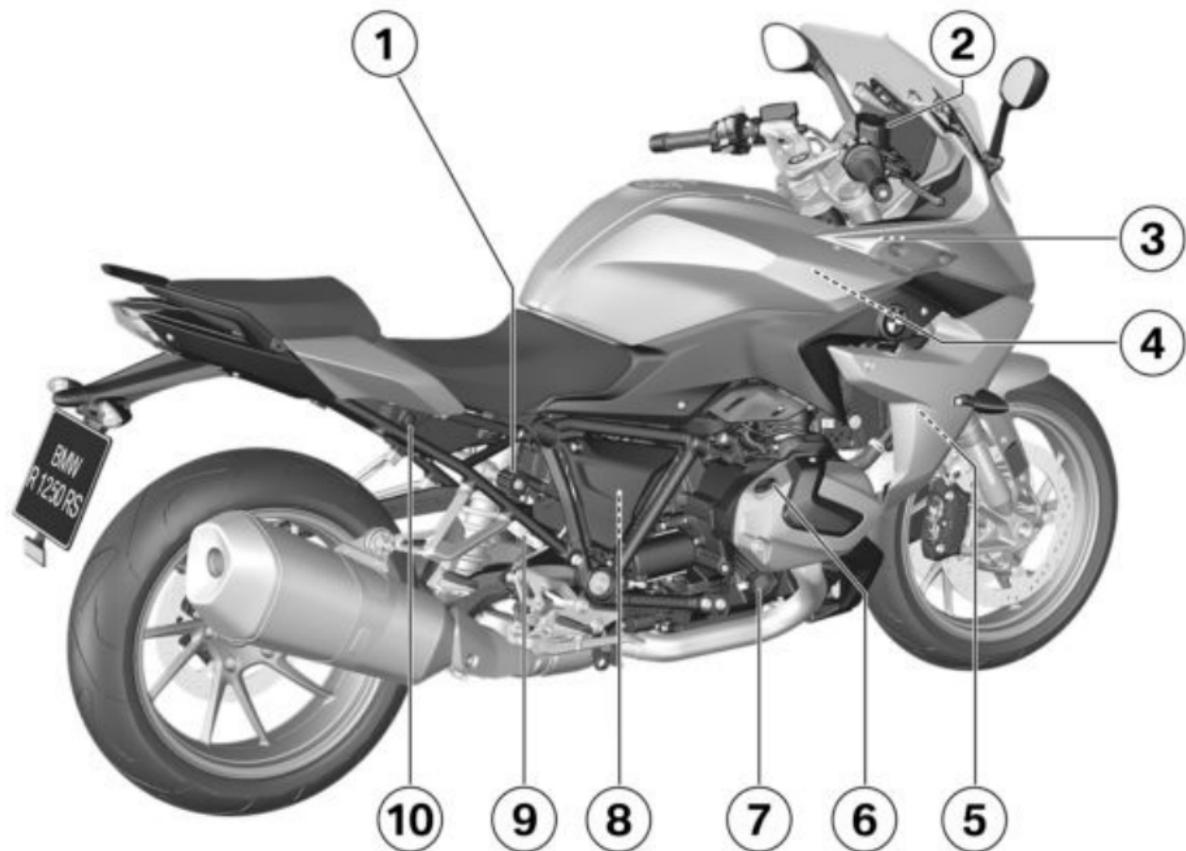
全体図

左側面	15
右側面	17
シート下.....	18
左コンビネーションスイッチ.....	19
右コンビネーションスイッチ.....	21
メーターパネル.....	22



左側面

- 1 クラッチフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 157)
- 2 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 128)
- 3 シートロック (▶▶▶▶ 83)
- 4 リヤショックアブソーバーの調整 (スプリングストラット下) (▶▶▶▶ 116)



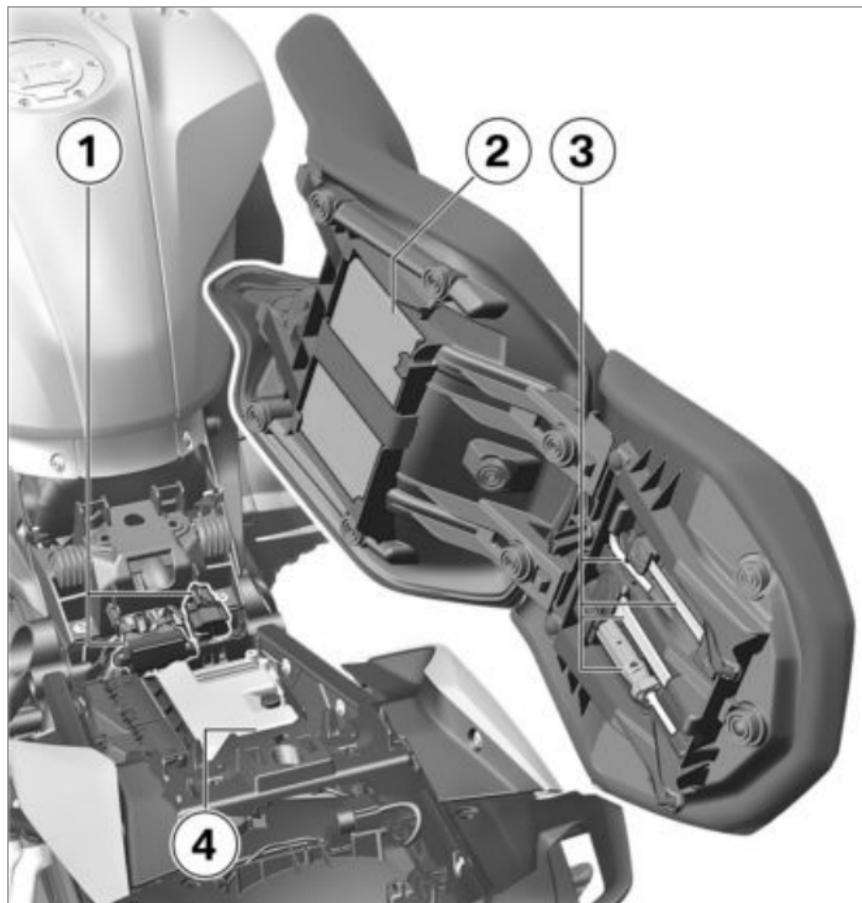
10 電源ソケット (180)

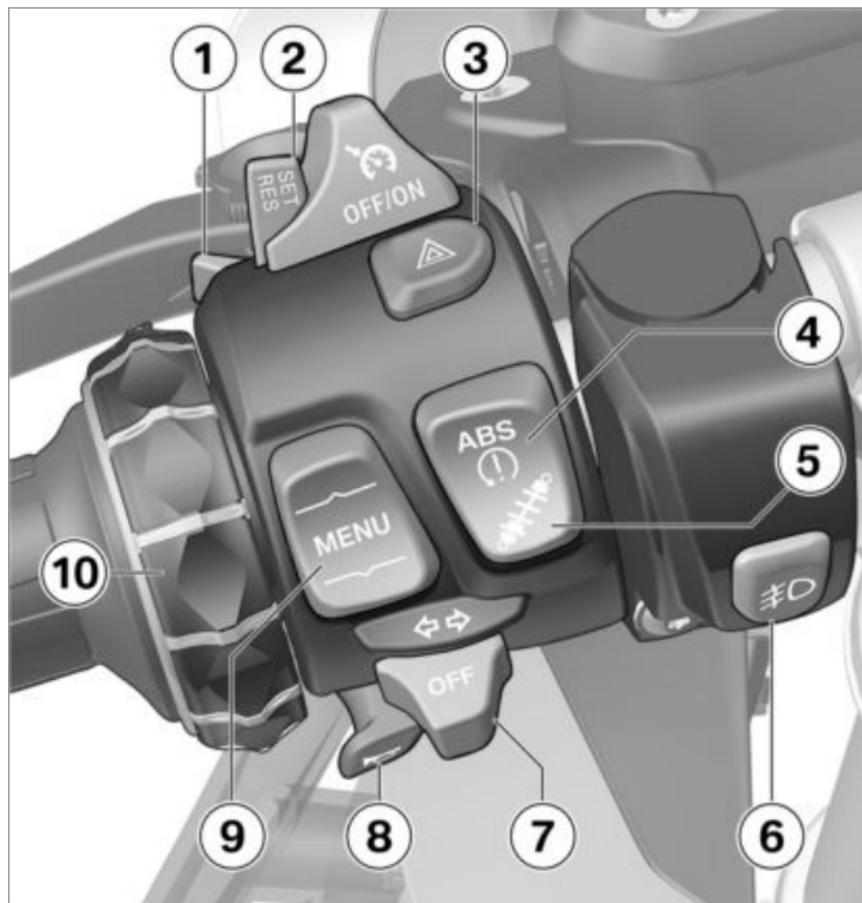
右側面

- 1 リヤスプリングプリロードの調整 (115)
- 2 フロントブレーキフルードリザーバタンク (155)
- 3 車両識別番号(右ステアリングヘッドのところ)
型式プレート(ステアリングヘッド左)
- 4 クーラントレベル表示 (157)
クーラントリザーバタンク (157)
- 5 タイヤ充填圧表
- 6 オイル注入口 (152)
- 7 エンジンオイルレベル表示 (151)
- 8 サイドトリムパネルの後ろ：
バッテリー (171)
バッテリープラスターミナル (170)
診断コネクタ (176)
- 9 リヤブレーキフルードリザーバタンク (156)

シート下

- 1 ヒューズ (▶▶▶ 175)
- 2 Rider's Manual
- 3 標準スペシャルツールキット (▶▶▶ 148)
- 4 積載荷重一覧



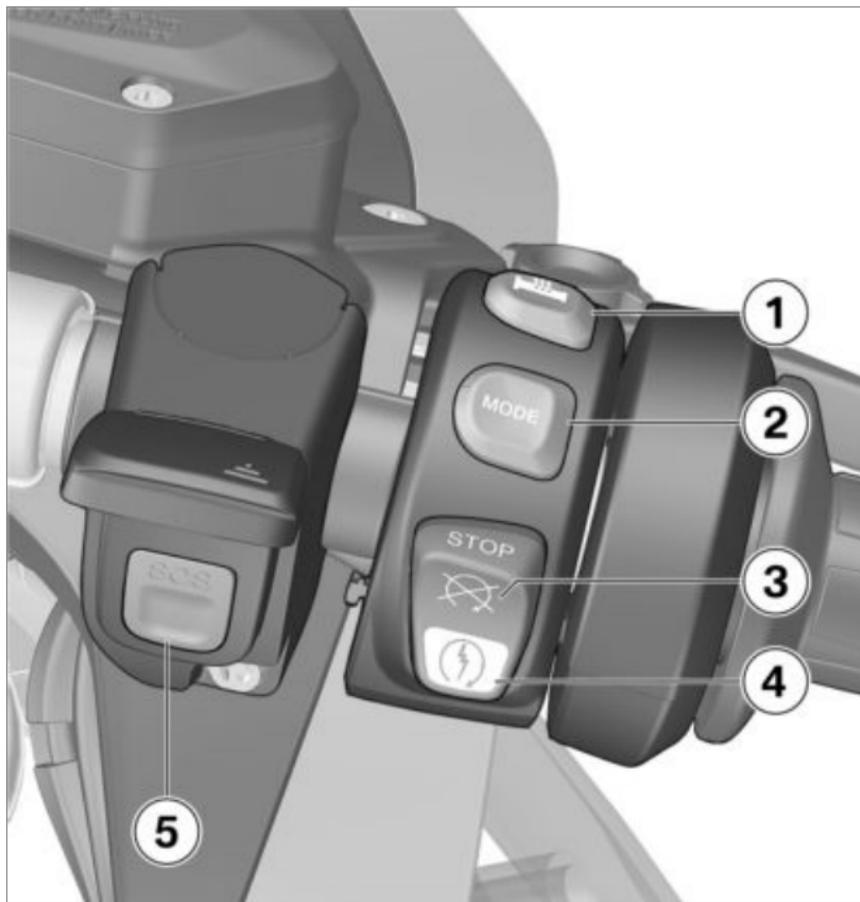


左コンビネーションスイッチ

- 1 ハイビームヘッドライトとパッシングライト (▶▶▶ 60)
- 2 -クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶▶ 74)。
- 3 ハザードランプ (▶▶▶ 62)
- 4 ABS (▶▶▶ 63)
ASC (▶▶▶ 65)
- 走行モードPro^{OE} 装備
DTC (▶▶▶ 67)
- 5 - Dynamic ESA^{OE} 装備
Dynamic ESA 設定方法 (▶▶▶ 68)
- 6 - LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
補助ヘッドライト (▶▶▶ 61)。
- 7 ウィンカー (▶▶▶ 62)
- 8 ホーン
- 9 モメンタリボタンMENU (▶▶▶ 87)

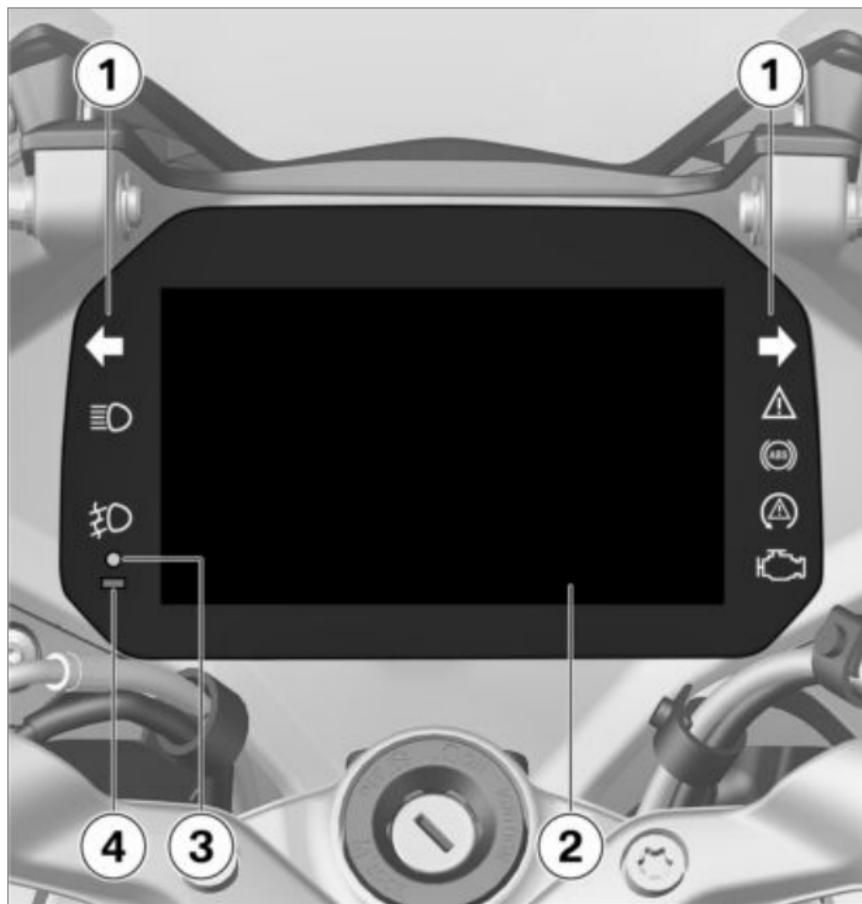
右コンビネーションスイッチ

- 1 ーグリップヒーター—OE 装備
グリップヒーター (▶▶▶ 81)。
- 2 走行モード (▶▶▶ 71)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 60)
- 4 スターターボタン
エンジンを始動する (▶▶▶ 121)。
- 5 SOS ボタン



メーターパネル

- 1 表示灯および警告灯 (⇒ 24)
- 2 TFT ディスプレイ (⇒ 25)
(⇒ 27)
- 3 DWA LED
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
アラーム信号 (⇒ 80)
- Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケータ
イグニッションを ON にする (⇒ 57)。
- 4 フォトダイオード (メーターパネルライトの輝度調整用)

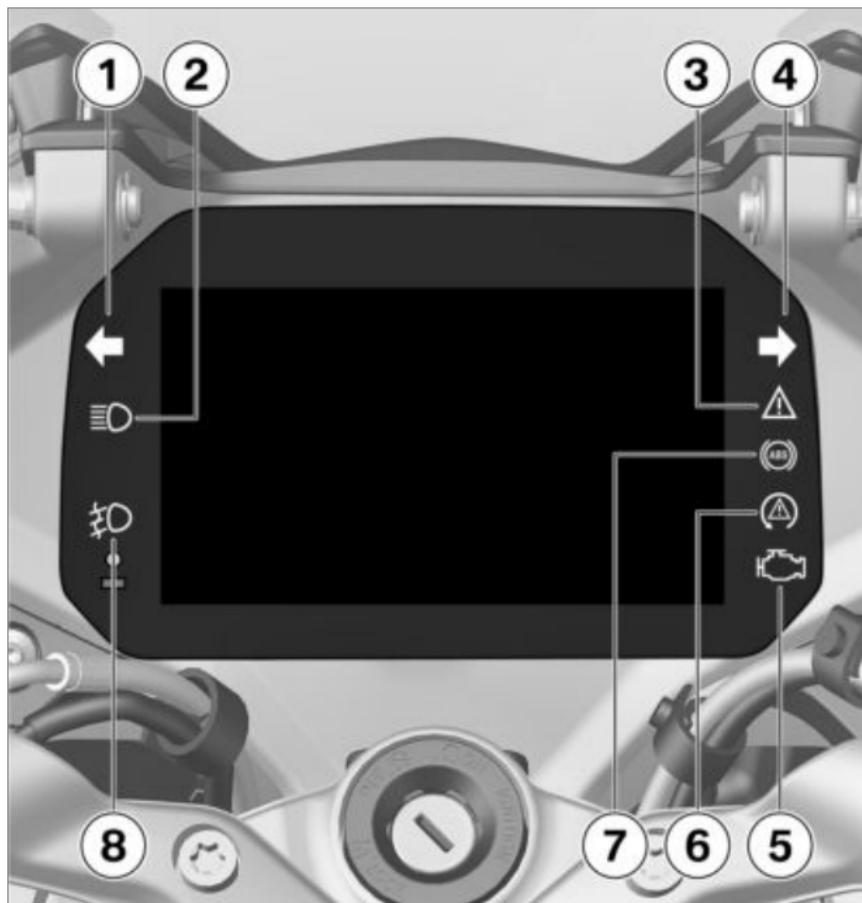


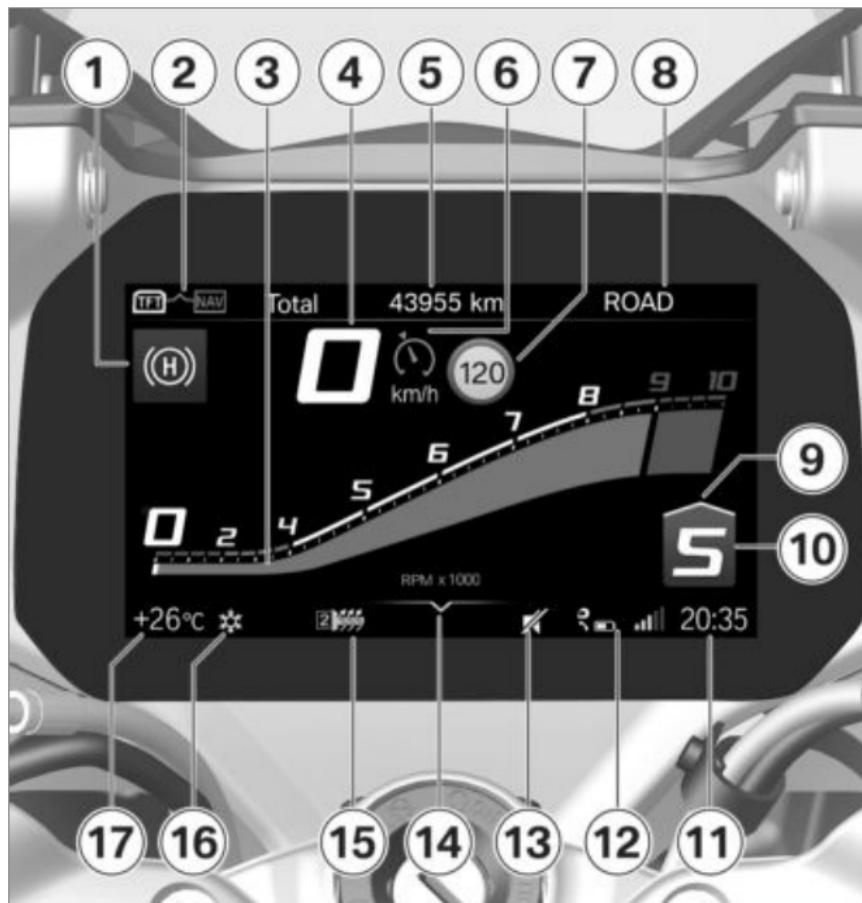
表示

表示灯および警告灯	24
TFT ディスプレイのPure Ride ビュー	25
TFT ディスプレイのメニュー ビュー	27
警告表示	28

表示灯および警告灯

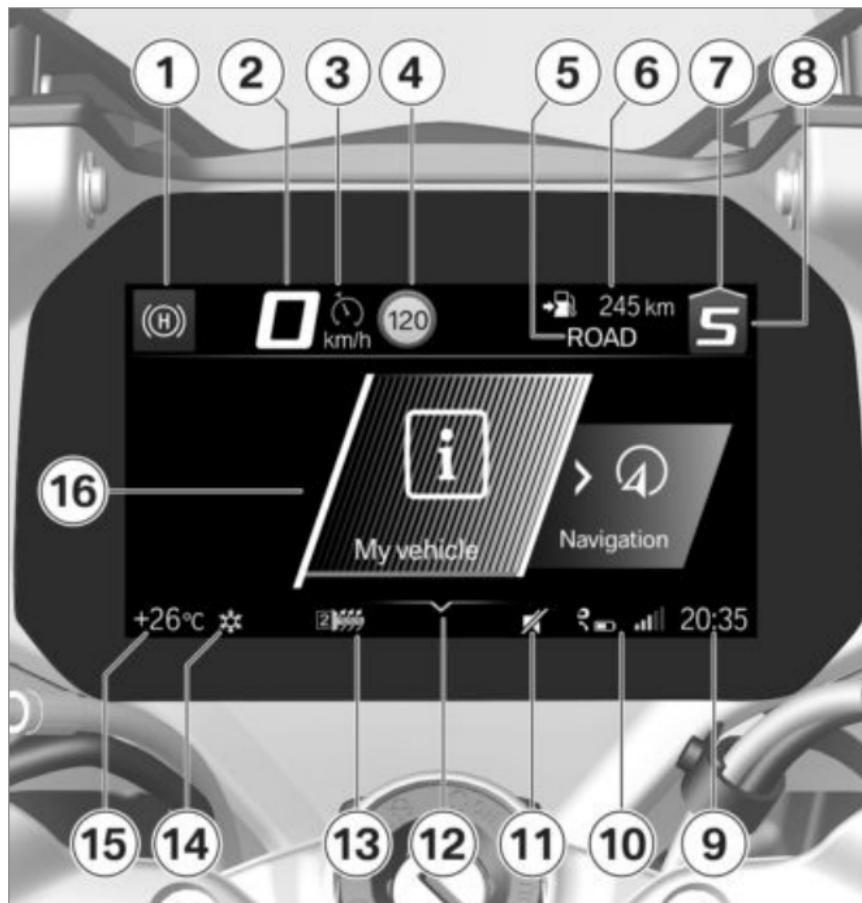
- 1 左側ウインカー
ウインカーを操作する (▶▶▶ 62)。
- 2 ハイビームヘッドライト (▶▶▶ 60)
- 3 ジェネラル警告灯 (▶▶▶ 28)
- 4 右側ウインカー
- 5 排気ガス警告灯
- 6 ASC (▶▶▶ 46)
- 走行モードPro^{OE} 装備
DTC (▶▶▶ 47)
- 7 ABS (▶▶▶ 63)
- 8 - LED 補助ヘッドライト
ト^{OA} 装備
補助ヘッドライト (▶▶▶ 61)。





TFT ディスプレイ のPure Ride ビュー

- 1 Hill Start Control (▶▶▶ 50)
- 2 操作フォーカスの切替え (▶▶▶ 91)
- 3 エンジン回転数表示 (▶▶▶ 93)
- 4 スピード表示
- 5 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 92)
- 6 クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶▶ 74)。
- 7 Speed Limit Info (▶▶▶ 93)
- 8 走行モード (▶▶▶ 71)
- 9 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 94)
- 10 シフト表示、ニュートラル位置で「N」（アイドルリング）が表示されます。
- 11 Time (▶▶▶ 95)
- 12 接続ステータス (▶▶▶ 97)
- 13 ミュートスイッチ (▶▶▶ 95)
- 14 操作ヘルプ



TFT ディスプレイのメニュービュー

- 1 Hill Start Control (▶▶▶ 50)
- 2 スピード表示
- 3 クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶▶ 74)。
- 4 Speed Limit Info (▶▶▶ 93)
- 5 走行モード (▶▶▶ 71)
- 6 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 92)
- 7 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 94)
- 8 シフト表示、ニュートラル位置で「N」（アイドリング）が表示されます。
- 9 Time
- 10 接続ステータス
- 11 ミュートスイッチ (▶▶▶ 95)
- 12 操作ヘルプ
- 13 グリップヒーターレベル (▶▶▶ 81)
- 14 路面凍結警告 (▶▶▶ 38)
- 15 外気温度

16 メニュー範囲

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急性に応じて表示されます。

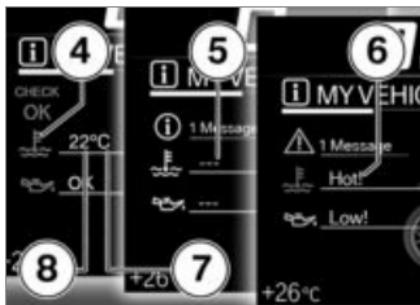
以降のページに警告表示の一覧があります。



チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**: メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**: 情報。
- 黄色の三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が最適範囲から逸脱。
- 赤い三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が限界に到達



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 青：(Cold!) 現在の温度は低すぎる。
- 黄：(Low! / High!) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(Hot! / High!) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(--) 有効な値なし。値の代わりに線 **5** が表示されます。

注意事項

個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。◀



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、車両メニューのページ

警告表示一覧

インジケーター / 警告灯

ディスプレイテキスト

意味



氷のアイコンが表示されます。

路面凍結警告 (▶▶▶▶ 38)



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



Remote key not in range.

受信地域外での無線キー (▶▶▶▶ 38)



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



Remote key battery at 50%.

無線キーのバッテリー交換 (▶▶▶▶ 39)



Remote key battery weak.



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



が黄色で表示されます。

車両電装システム電圧不足 (▶▶▶▶ 39)



Vehicle voltage low.



ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



が赤で表示されます。

ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している (▶▶▶▶ 39)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 Vehicle voltage critical!	ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している (▶▶▶▶ 39)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 故障したライトバルブが表示されます。	ライトバルブの故障 (▶▶▶▶ 40)
	 Alarm system battery weak.	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶▶ 41)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Alarm system battery empty.	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶▶ 41)
	 Oil level too low! Check oil level.	エンジンオイルレベルが低すぎる (▶▶▶▶ 42)
 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	 Coolant temperature too high!	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶▶ 42)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 No communication with engine control.	エンジンコントロール機能停止 (▶▶▶▶ 43)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Fault in the engine control.	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶▶ 43)

インジケータ / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	 Serious fault in the engine control!	エンジン制御の重度の故障 (▶▶▶▶ 43)
	 Drop sensor faulty.	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶▶ 44)
	 Engine start not possible.	車両の転倒 (▶▶▶▶ 44)
	 Side stand monitoring faulty.	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶▶ 44)
 ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。		ABS 自己診断が終了していません (▶▶▶▶ 44)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Off!	ABS が OFF になっている (▶▶▶▶ 45)
	 ABS deactivated.	
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Limited ABS availability!	ABS 故障 (▶▶▶▶ 45)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	 ABS failure!	ABS 機能停止 (▶▶▶ 45)
 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	 ABS Pro failure!	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 46)
 ASC インジケーター / 警告灯が高速で点滅します。		ASC 介入 (▶▶▶ 46)
 ASC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。		ASC 自己診断が終了していない (▶▶▶ 46)
 ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Off!	ASC オフ (▶▶▶ 47)
	 Traction control deactivated.	
 ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Traction control failure!	ASC 故障 (▶▶▶ 47)

インジケータ / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 DTC インジケータ / 警告灯が高速で点滅します。		DTC 介入 (▶▶▶▶ 47)
 DTC インジケータ / 警告灯が低速で点滅します。		DTC 自己診断が終了していない (▶▶▶▶ 47)
 DTC インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Off!	DTC が OFF になっている (▶▶▶▶ 48)
	 Traction control deactivated.	
 DTC インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Traction control failure!	DTC 故障 (▶▶▶▶ 48)
 DTC インジケータ / 警告灯が点灯します。	 Traction control limited!	DTC の使用に制限 (▶▶▶▶ 48)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 Spring strut adjustment faulty!	D-ESA の故障 (▶▶▶▶ 49)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 燃料がリザーブ容量に達している。近いうちにガソリンスタンドに向かってください	燃料がリザーブ容量に達している (▶▶▶▶ 49)
	 緑色の停止アイコンが表示されません。	Hill Start Control オン (▶▶▶▶ 50)
	 黄色い停止アイコンが点滅します。	Hill Start Control は自動でオフ (▶▶▶▶ 50)
	 線で消された停止アイコンが表示されます。	Hill Start Control 作動不可 (▶▶▶▶ 50)
	 ギア表示が点滅します。	ギア未学習 (▶▶▶▶ 50)
	左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。	ハザードランプは ON の状態です (▶▶▶▶ 51)

インジケーター / 警告灯 ディスプレイテキスト

意味

	右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。		ハザードランプは ON の状態です (▶▶▶ 51)
			が白で表示されます。 サービス期限 (▶▶▶ 51)
			Service due!
	ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。		が黄色で表示されます。 サービス時期を過ぎている (▶▶▶ 51)
			Service overdue!

外気温度

外気温度は、TFT ディスプレイのステータスバーに表示されません。

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。



外気温度が以下の限界値未満になると、路面が凍結する恐れがあります。



外気温度に関する限界域

約 3 °C

この温度を下回ると、外気温度表示が TFT ディスプレイステータスバーの氷アイコンとともに点滅します。

路面凍結警告



氷のアイコンが表示されません。

考えられる原因:



モーターサイクル付近で測定された外気温度 <

約 3 °C



警告

3 °C 以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

受信地域外での無線キー

– Keyless Ride^{OE} 装備



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



Remote key not in range. Not possible to switch on ignition again.

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクスの間の通信に障害があります。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリー交換(▶▶ 59)。
- さらに走行するにはスペアキーを使用します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーの紛失(▶▶ 58)。
- 走行中にチェックコントロールダイアログが表示された場合、落ち着いてください。走行は続けることができます。

エンジンを切らないでください。

- BMW Motorrad ディーラーに故障した無線キーの交換を依頼してください。

無線キーのバッテリー交換



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



Remote key battery at 50%. No functional impairment.



Remote key battery weak. Limited central locking function. Change battery.

考えられる原因:

- 無線キーのバッテリー容量がフルではありません。無線キーの機能は、限られた時間のみ保証されます。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリー交換 (▶▶ 59)。

車両電装システム電圧不足



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



が黄色で表示されます。



Vehicle voltage low. Switch off unnecessary consumers.



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀
バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。



注意事項

12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違える、ジェネレーターレギュレー

ターのヒューズが溶断する可能性があります。◀

考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターヒューズのヒューズが溶断している。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ボードエレクトリック電源電圧が臨界に達している



ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



が赤で表示されます。



Vehicle voltage critical! Consumers have been switched off. Check battery condition.

 **警告**
車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。

 **注意事項**

12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断する可能性があります。◀

考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ライトバルブの故障

 ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。

 故障したライトバルブが表示されます:

 High beam faulty!

 Front left turn indicator faulty! またはFront right turn indicator faulty!

 Low-beam headlight faulty!

 Front side light faulty!

 Daytime riding light faulty!

- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

 Left additional headlight faulty! またはRight additional headlight faulty!◀

 Tail light faulty!

 Brake light faulty!

 Rear left turn indicator faulty! またはRear right turn indicator faulty!

 Number plate light faulty!

- Have it checked by a specialist workshop.

警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かれずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

一つ以上の照明手段が故障している。

- 目視点検で故障している照明手段を特定します。
- LED ヘッドライトの交換(▶▶▶ 169)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 168)。
- LED テールライトを交換する(▶▶▶ 169)。
- LED ウインカー^{OE} 装備
- LED ウインカーを交換する(▶▶▶ 169)。

DWA バッテリーが弱っている

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 Alarm system battery weak. No restrictions. Make an appointment at a specialist workshop.

注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。

 Alarm system battery empty. No independent alarm. Make an appointment at a specialist workshop.

注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

電子的なエンジンオイルレベル調整



電子的なエンジンオイルレベル調整は、エンジン内のエンジンオイルレベルを評価しますOK またはLow!

電子的なエンジンオイルレベル調整には、以下の条件が満たされている必要があります：

- エンジンが作動温度に達していること。
- エンジンを 10 秒間以上アイドルリングさせていること。
- サイドスタンドが格納されていること。
- ブレーキを操作していないこと。
- モーターサイクルが平坦な場所に真っ直ぐに立っていること。

これらの条件が満たされていない場合、エンジンオイル測定はできません。注意表示の代わりに横線が表示されます。

エンジンオイルレベルが低すぎる



Oil level too low! Check oil level.

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に：

- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 151)。

オイルレベルが低すぎる場合：

- エンジンオイルを補充する(➡ 152)。
- オイルレベルが正常な場合：
- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。



Coolant temperature too high! Check coolant level.

Continue under part. load to cool down.



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する(➡ 157)。
- クーラントレベルが低すぎる場合：
- エンジンを冷まします。
 - クーラントを補充します(➡ 157)。
 - 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。

クーラント温度がより頻繁に高くなりすぎる場合:

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンコントロール機能停止

 ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。

 No communication with engine control. Multiple sys. affected. Ride carefully to the next specialist workshop.

エンジンがエマージェンシーモードになっている

 ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。

 Fault in the engine control. Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

警告

エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性
事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、エンジン出力またはスロットルレスポンスを低下させる故障を診断しました。エンジンはエマージェンシーモードで作動しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン出力や回転数域に達しないおそれがあります。

エンジン制御の重度の故障

 ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。

 Serious fault in the engine control! Riding at mod. speed pos. Damage possible. Have checked by workshop.



警告

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

転倒検知センサーが故障している



Drop sensor faulty. Have it checked by a specialist workshop.

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

車両の転倒



Engine start not possible. Straighten up motorbike. Switch ignition off/on. Start engine.

考えられる原因:

転倒検知センサーが転倒を検知し、エンジンを停止させました。

- 車両をまっすぐに立てます。
- イグニッションを OFF にした後、再度 ON にするか、

イグニッションキルスイッチを ON にし、再度 OFF にします。

サイドスタンドモニター故障



Side stand monitoring faulty. Onward journey possible. Engine stop. when stationary! Have checked by workshop.

考えられる原因:

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

 ABS 自己診断が終了して
いません

ABS は、自己診断が終了し
なかったため、使用できませ
ん。(ホイール回転数センサ
ーを点検するには、モーターサ
イクルが最低速度に達する必
要があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己
診断が終了するまで ABS 機能
が使用できないことに注意して
ください。

ABS が OFF になっている

 ABS インジケーター / 警告
灯が点灯します。

 Off!

 ABS deactivated.

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーによ
り OFF にされました。
• ABS 機能を ON にする(▶▶▶ 65)。

ABS 故障

 ABS インジケーター / 警告
灯が点灯します。

 Limited ABS availability!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist
workshop.

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが
故障を検知しました。パーシャ
リーインテグラルブレーキングお
よびDynamic Brake Control 機能
が機能停止しています。ABS 機
能は制限付きで使用可能です。
• 走行を続行することは可能で
す。ABS のエラーメッセージ
を引き起こす可能性のある特別

な状況についての、詳細な情報
をご確認ください(▶▶▶ 135)。

- できる限り早く、
BMW Motorrad ディーラーに
故障の修理を依頼してくださ
い。

ABS 機能停止

 ABS インジケーター / 警告
灯が点灯します。

 ABS failure! Riding at mod.
speed pos. Ride carefully
to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故
障を検知しました。ABS 機能は
使用できません。
• 走行を続行することは可能で
す。ABS のエラーメッセージ
を引き起こす可能性のある特別
な状況についての、詳細な情報
をご確認ください(▶▶▶ 135)。
• できる限り早く、
BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止

－ 走行モードPro^{OE} 装備



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。



ABS Pro failure! Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ABS Pro コントロールユニットが故障を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用できます。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (135)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 介入

－ 走行モードPro^{OE} 非装備



ASC インジケーター / 警告灯が高速で点滅します。ASC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、ASC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC 自己診断が終了していない

－ 走行モードPro^{OE} 非装備



ASC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。

考えられる原因:



ASC/DTC 自己診断が終了していません

ASC/DTC は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数 m 走行後、ASC インジケーターおよび警告灯は消灯しなければなりません。
- ASC インジケーターおよび警告灯が点滅し続ける場合:
- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

ASC オフ

－ 走行モードPro^{OE} 非装備



ASC インジケーター / 警告
灯が点灯します。



Off!



Traction control
deactivated.

考えられる原因:

ASC システムは、ライダーによって OFF にされました。

－ 走行モードPro^{OE} 非装備

- ASC 機能を ON にする(▶▶ 66)。

ASC 故障

－ 走行モードPro^{OE} 非装備



ASC インジケーター / 警告
灯が点灯します。



Traction control failure!
Riding at mod. speed pos.

Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- ASC 故障につながりかねない状況に関するその他の情報に注意してください(▶▶ 138)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 介入

－ 走行モードPro^{OE} 装備



DTC インジケーター / 警告
灯が高速で点滅します。

DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅

し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

DTC 自己診断が終了していない

－ 走行モードPro^{OE} 装備



DTC インジケーター / 警告
灯が低速で点滅します。

考えられる原因:



DTC+ の自己診断が完了していません

DTC+ は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでDTC 機能

が使用できないことに注意してください。

DTC が OFF になっている

– 走行モードPro^{OE} 装備

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

 Off!

 Traction control deactivated.

考えられる原因:

- DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。
- DTC を ON にする(▶▶▶ 67)。

DTC 故障

– 走行モードPro^{OE} 装備

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

 Traction control failure!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC 故障につながりかねない状況に関するその

他の情報に注意してください (▶▶▶ 138)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC の使用に制限

– 走行モードPro^{OE} 装備

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

 Traction control limited!
Riding at mod. speed pos.
Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC 故障につながりかねない状況に関するその他の情報に注意してください (▶▶ 138)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

D-ESA の故障

– Dynamic ESA^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



Spring strut adjustment faulty! Riding at mod. speed pos. Ride carefully to next specialist workshop.

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。積載荷重モード Auto では、原因は走行位置アライメント機能の障害である可能性もあります。この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があります。特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、スプリング調整が誤っている可能性もあります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

燃料がリザーブ容量に達している



燃料がリザーブ容量に達している。近いうちにガソリンスタンドに向かってください。



警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止

触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



燃料残量

約 4 l

- 給油手順 (▶▶ 128)。

Hill Start Control オン



緑色の停止アイコンが表示されます。

考えられる原因:

ライダーがHill Start Control (▶▶ 144) を ON にしました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control の操作(▶▶ 76)。

Hill Start Control は自動でオフ



黄色い停止アイコンが点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的にオフになりました。

- サイドスタンドが出されました。
- ▶▶ サイドスタンドが出されると、Hill Start Control はオフになります。
- エンジンが停止されました。

▶▶ エンジンを停止すると、Hill Start Control はオフになります。

- Hill Start Control の操作(▶▶ 76)。

Hill Start Control 作動不可



線で消された停止アイコンが表示されます。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドをたたみます。
- ▶▶ Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。
- エンジンを始動させます。
- ▶▶ Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能します。

ギア未学習

– シフトアシストPro^{OE} 装備



ギア表示が点滅します。
ギアシフトアシストPro は機能していません。

考えられる原因:

– シフトアシストPro^{OE} 装備

トランスミッションセンサーの学習が完全ではありません。

- ニュートラル N に入れて、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させて、ニュートラルの学習を行います。
- クラッチ操作ですべてのギアに入れて、入れたギアでそれぞれ 10 秒以上走行します。
- ▶▶ トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギア表示の点滅が停止します。
- トランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギアシフトアシスト Pro が記載通りに機能します (▶▶ 142)。
- 学習に失敗した場合は、専門の整備工場か、可能な限

りBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態です



左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。



右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作する(▶▶ 62)。

サービス表示



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯(黄)が点灯します。

サービス期日を超過すると、黄色で CC メッセージが表示されます。さらに、サービス、サービス期日および残り距離の表示がメニューパネル MY VEHICLE および SERVICE REQUIREMENTS でエクスクラメーションマーク付きで強調表示されます。



注意事項

サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。◀

サービス期限



が白で表示されます。

Service due! Have service performed by a specialist workshop.

考えられる原因:

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。
- » 車両の運転および交通の安全性が保たれます。
- » 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

サービス時期を過ぎている



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



が黄色で表示されます。

Service overdue! Have service performed by a specialist workshop.

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。
- 車両の運転および交通の安全性が保たれます。
- 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック	54	走行モードPRO	72
Keyless Ride によるイグニッション	56	クルーズコントロール	73
イグニッションキルスイッチ	60	発進アシスタント	76
ライト	60	盗難警報装置 (DWA)	79
ハザードランプ	62	グリップヒーター	81
ウインカー	62	オンボードコンピューター	82
アンチロックブレーキシステム (ABS)	63	フロントおよびリヤシート	83
オートマチックスタビリティコントロール (ASC)	65		
ダイナミックトラクションコントロール (DTC)	67		
電子調整式サスペンション (D-ESA)	68		
走行モード	71		

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

キー

イグニッションキーは 2 本あります。

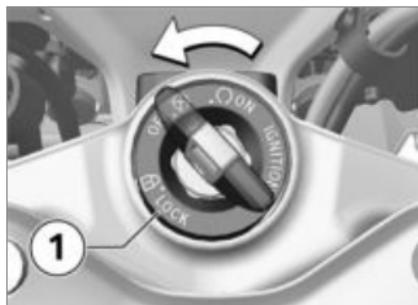
キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム (EWS) (▶▶ 55) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作することができます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ステアリングロックをロックする

- ハンドルを左に回します。



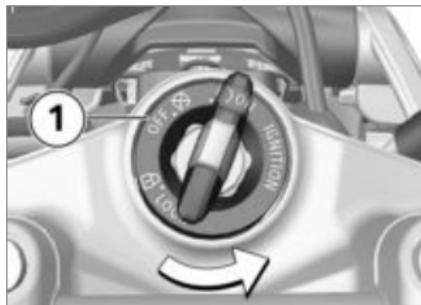
- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション **1** に回します。
- ▶ イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ▶ ステアリングロックがロックされています。
- ▶ キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



- イグニッションキーをイグニッションハンドルロックに差し込み、ポジション **1** に回します。
- ▶ スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- LED 補助ヘッドライト ^{OA} 装備
- ▶ LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- ▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 121)
- ▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 122)
- ▶ ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 123)

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

» キーを抜き取ることができません。

– LED 補助ヘッドライト ^{OA} 装備
● イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◀

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

注意事項

その他の車両キー(スペアキーなど)が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。

スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

– Keyless Ride^{OE} 装備

キー

注意事項

無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。

無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。

無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム (EWS) (▶▶▶ 55) に関する注意事項に従ってください。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケース

は手動で操作することができます。

注意事項

無線キーが手に届く範囲にないと(ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。

無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になります。

無線キーを身に着けておく(ジャケットのポケットなど)か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀



Keyless Ride の走行可能距離無線キー

– Keyless Ride^{OE} 装備

約 1 m<

ハンドルロックをロックする 前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。



- ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックが音をたててロックします。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短押しします。

イグニッションを ON にする 前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションをオンにすると、ハンドルロックをロック解除することができます。

ハンドルロックがロックされている：

- ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。

- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 121)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 122)
- » ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 123)

ハンドルロックがロック解除されている：

- ボタン **1** を短く押します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 121)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 122)
- » ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 123)

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションをオフにすると、ハンドルロックをロックすることができます。

イグニッションをオフにし、ハンドルロックをロックする：

- ハンドルを左に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

イグニッションをオフにし、ハンドルロックをロックしない：

- ボタン **1** を短く押します。
- » ライトが OFF になります。
- » ハンドルロックはロックされません。
- ハンドルロックをロックする(▶▶ 56)。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに蓄積されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

注意事項

その他の車両キーが始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、電子制御システムが「妨害」

され、エンジンの始動が許可されない場合があります。スペアキーは必ず無線キーと別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

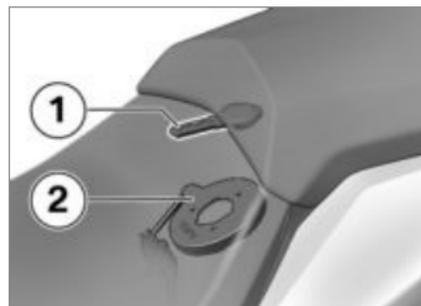
非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーの紛失

注意事項

キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム(EWS)に関する注意事項を確認し、順守してください。

走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。◀



- スペアキー **1** を、スペアキーがアンテナ **2** の上に位置決めされるように、フロントシートとリヤシート間のすき間に差し込みます。

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

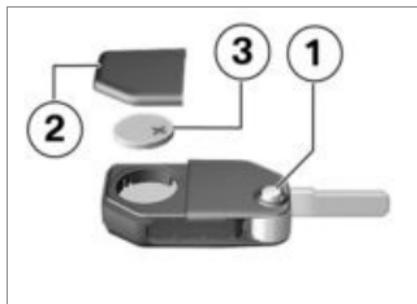
- » Pre-Ride-Check が実行されま
す。
- スペアキーが検知されまし
た。
- エンジンを始動することができ
ます。
- スペアキーを外すことができま
す。
- エンジンを始動する(▶▶▶ 121)。

無線キーのバッテリー交換

ボタンを長押ししても短押しし
ても、無線キーが反応しない：

- 無線キーのバッテリー容量が充
分ではありません。

 Remote key battery weak.
Limited central locking
function. Change battery.



- ボタン **1** を押します。
- » 切込み付きキーが開きます。
- バッテリーカバー **2** を押し上
げます。
- バッテリー **3** を取り外しま
す。
- 使用済みバッテリーはお住まい
の地域の法規にしたがい廃棄処
分します。バッテリーを家庭
ごみとして捨てないでくださ
い。

重要事項

不適切なバッテリー、または入
れ方が正しくないバッテリー
コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してく
ださい。
- バッテリーを組み込む際に、
極性が正しいか確認してくださ
い。◀
- 新しいバッテリーをプラス極を
上にして入れます。

 バッテリータイプ

Keyless Ride 無線キー

CR 2032

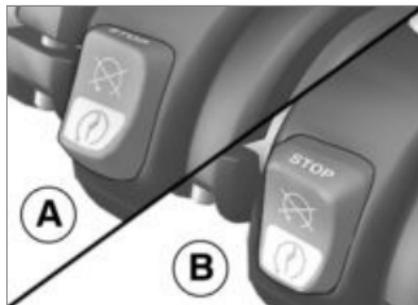
- バッテリーカバー **2** を取り付
けます。
- » メーターパネルで赤色 LED が
点滅します。
- » 無線キーは再び機能すること
ができます。

イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



A エンジン停止
B 通常の操作ポジション



注意事項

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

エンジンの始動後、ロービームは自動的に ON になります。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。



警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトをONにします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォローミーホームライト

- イグニッションをOFFにします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
 » 車両照明は1分間点灯し、自動的に再び消灯します。
 - これは、車両を停止した後などに玄関までの道を照らすことができます。

パーキングライト

- イグニッションスイッチをOFFにする(▶▶ 55)。



- イグニッションをOFFにした直後、パーキングライトがONになるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトをOFFにするため、イグニッションをONにしてから再びOFFにします。

補助ヘッドライト

- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

前提条件

補助ヘッドライトは、ロービームがオンになっている間のみオンになります。

**注意事項**

補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。◀

- エンジンを始動する(▶▶ 121)。



- ボタン **1** を操作して、補助ヘッドライトをオンにします。



補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。

- ボタン **1** を再度操作して、補助ヘッドライトをオフにします。

ハザードランプ**ハザードランプを操作する**

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。

**注意事項**

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようになしてください。◀



- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー**ウインカーを操作する**

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。



コンフォートターンインジケータ



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。

ボタン**1**を右または左に押し、以下の条件ではターンインジケータが自動的にオフになります：

- 速度 30 km/h 未満：50 m 走行後。
- 速度 30 km/h～ 100 km/h：速度に応じた走行距離後または加速時。
- 速度 100 km/h 以上：5 回の点滅後。

ボタン**1**を少し長く右または左に押しても、速度に応じた走行距離

到達後にターンインジケータは自動的にオフになります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABS 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。



注意事項

ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- ABS インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を押すとすぐに、現在の ASC/DC システムステータスおよび ABS システムステータス ON が表示されます。

- » まず ASC インジケーターおよび警告灯の表示が変化します。ABS インジケーターおよび警告灯が反応するまで、ボタン **1** を押し続けます。この場合、ASC/DC 設定は変化しません。

 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

可能な ABS システムステータス OFF! が表示されます。

- ABS システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。
- ASC/DC システムステータスは変更されず、新しい ABS システムステータス OFF! が短時間表示されます。

 ABS インジケーター / 警告灯が引き続き点灯します。

- » ABS 機能が OFF になります。
 - » インテグラル機能は引き続き作動しています。
- 走行モード Pro^{OE} 非装備
- » Hill Start Control 機能は引き続き作動しています。◁
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- » Hill Start Control Pro 機能は引き続き作動しています。◁

- 走行モード Pro^{OE} 装備
- » Dynamic Brake Control 機能は、ABS 機能がオフになると、同様にオフになります。◁
 - BMW Motorrad Integral ABS 装備のブレーキシステムに関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください。
 - » パーシャリーインテグラルブレーキ (▶▶▶ 134)
 - » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 144)
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- » Dynamic Brake Control の機能 (▶▶▶ 141)◁

ABS 機能を ON にする



- ABS インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。ボタン **1** を押すとすぐに、現在の ASC/DTC システムステータスおよび ABS システムステータス OFF! が表示されます。

 ABS インジケータ / 警告灯が消灯し、自己診断が終了していない場合は点滅し始めます。

可能な ABS システムステータス ON が表示されます。

- ABS システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

 ABS インジケータ / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

ASC/DTC システムステータスは変更されず、新しい ABS システムステータス ON が短時間表示されます。

- » ABS 機能が ON になります。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後、ABS インジケータ / 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。

min 10 km/h

オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

ASC 機能を OFF にする

— 走行モード Pro^{OE} 非装備

- イグニッションを ON にする (▶▶ 54)。

注意事項

ASC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀◀



- ASC インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を押すとすぐに、ASC システムステータス ON および現在のABS システムステータスが表示されます。

 ASC インジケータ / 警告灯が点灯します。

可能な ASC システムステータス OFF! が表示されます。

- ASC システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

新しいASC システムステータス OFF! が短時間表示されず、ABS システムステータスは変更されません。

 ASC インジケータ / 警告灯が引き続き点灯します。

» ASC 機能が OFF になります。

ASC 機能を ON にする

– 走行モード Pro^{OE} 非装備



- ASC インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。ボタン **1** を押すとすぐに、ASC システムステータス OFF! および現在のABS システムステータスが表示されます。

 ASC インジケータ / 警告灯が消灯し、自己診断が終了していない場合は点滅し始めます。

可能な ASC システムステータス ON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

 ASC インジケータ / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

新しいASC システムステータス ON が短時間表示されます。ABS システムステータスは変更されません。

- » ASC 機能が ON になります。
- その他の方法として、イグニッションをオフにし、再度オンにします。

 イグニッション OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後、にASC インジケータ / 警告灯が引き続き点灯する場合には、ASC が故障しています。

min 5 km/h

- オートマチックスタビリティコントロールに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください。
- » ASC はどのように機能するのでしょうか？ (▶▶ 137)

ダイナミックトラクションコントロール (DTC)

– 走行モードPro^{OE} 装備

DTC を OFF にする

- イグニッションを ON にします。



注意事項

ダイナミックトラクションコントロール (DTC) は走行中も OFF にすることができます。◀



- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を押すとすぐに、DTC システムステータス ON および現在のABS システムステータスが表示されます。



DTC インジケータ / 警告灯が点灯します。

可能な DTC システムステータス OFF! が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。新しいDTC システムステータス OFF! が短時間表示されま

す。ABS システムステータスは変更されません。



DTC インジケータ / 警告灯が引き続き点灯します。

» DTC 機能が OFF になります。

DTC を ON にする



- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を押すとすぐに、DTC システムステータス OFF! および現在のABS システムステータスが表示されます。

 DTC インジケーター / 警告灯が消灯し、自己診断が終了していない場合は点滅し始めます。

可能な DTC システムステータス ON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

 DTC インジケーター / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

新しい DTC システムステータス ON が短時間表示されます。ABS システムステータスは変更されません。

- » DTC 機能が ON になります。
- ダイナミックトラクションコントロールに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください。
- » ダイナミックトラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？ (▶▶▶ 137)

電子調整式サスペンション (D-ESA)

– Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA 設定方法

電子調整式サスペンション Dynamic ESA はモーターサイクルを自動的に積載状態に適合させることができます。スプリング調整を Auto に設定すると、ライダーは積載調整を行う必要はなくなります。

Dynamic ESA に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください (▶▶▶ 139)。

使用可能なダンピングモード

– オンロード走行用：Road および Dynamic

使用可能な積載設定

– 定義された最小スプリング調整：Min

– 自動スプリング調整を行うアクティブな走行状態補正：Auto
– 定義された最大スプリング調整：Max



注意事項

BMW Motorrad はサスペンション設定 Auto を推奨します。◀

シャシー設定を表示する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 54)。



- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。



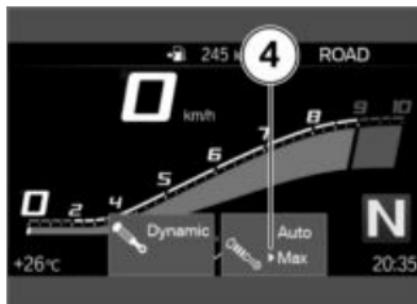
スプリング調整を行うには：

- エンジンを始動する(121)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押します。

注意事項

スプリング調整は走行中には変更できません。◀

設定ができない場合は、以下のメッセージが出力されます：Load adjustment only avail. stopped.



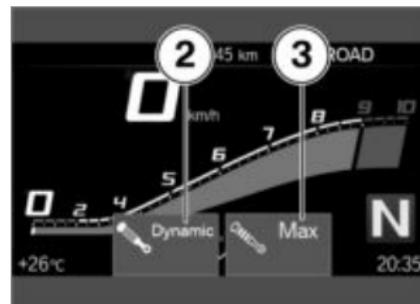
選択矢印 **4** が表示されます。

- » 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

以下の設定が可能です：

- Min: 最小のスプリング調整 (1名乗車時のみ)
- Auto: 自動スプリング調整 (推奨サスペンション設定)
- Max: 最大のスプリング調整 (タンデム走行時のみ)

- » ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたダンピングおよびスプリング調整が設定されます。



ダンピング **2** およびスプリング調整 **3** 用の新しいサスペンション設定が短時間表示されます。

- 温度が非常に低い場合には、スプリング調整を高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、タンデム同乗者に降りてもらってください。
- » 設定の終了後、サスペンション設定は非表示になります。
- » 積載荷重モード Auto では、発進してはじめてスプリング調整が調整されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルにシナリオを開発しました：

標準装備

- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。

- 走行モード Pro^{OE} 装備

走行モード Pro を使用

- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- DYNAMIC PRO: ライダーの設定を考慮した、乾いた路面でのダイナミックな走行。

これらのシナリオには、それぞれに最適なエンジン特性曲線、ABS コントロール、ASC / DTC コントロールの組み合わせが用意されています。

- Dynamic ESA^{OE} 装備
サスペンション調整もまた選択されたシナリオに適合されます。走行モードに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶ 140)。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にする (▶▶ 54)。



- ボタン **1** を押します。



有効な走行モード **2** はバックグラウンドに移動し、選択可能な最初の走行モード **3** が表示されます。ガイド表示 **4** は、いくつかの走行モードが使用可能かを表示します。



- 希望する走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し操作します。

以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN: 雨で濡れた路面での走行用。
- ROAD: 乾いた路面での走行用。

- 走行モードPro^{OE} 装備

さらに以下の走行モードを選択することができます：

- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行用。◁

- » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- » 走行中に新しい走行モードを ON にするには、以下の前提条件が必要です：
 - スロットルグリップがアイドル位置にある。
 - ブレーキが操作されていない。
 - クルーズコントロールが非作動。
- » エンジン特性曲線、ASC/DTC、Dynamic ESA について適切に調整が行われ、設定された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

走行モードPRO

- 走行モードPro^{OE} 装備

設定方法

走行モード PRO は個別に設定することができます。

走行モードPRO を設定する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。
- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- » 次の走行モードPRO はカスタマイズすることができます：
 - DYNAMIC PRO riding mode
- 走行モードを選択し、確定します。

Dynamic Pro を調整する

- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードPRO を設定する(▶▶ 72)。

システムEngine が選択されています。現在の設定は説明付きグラフでシステム に表示されます。

- システムを選択し、確定します。

可能な設定およびそれに関する説明を見ることができます。

- システムを調整します。
- » システムEngine およびDTC は同じ方法で調整することができます。
- 設定を初期設定にリセットすることができます:
- 走行モードの設定をリセットする(▶▶ 73)。

走行モードの設定をリセットする

- 走行モード PRO を設定する(▶▶ 72)。
- Reset を選択し、確定します。
- » DYNAMIC PRO RIDING MODE には以下の初期設定が適用されます:
 - DTC: Dynamic
 - ENGINE: Dynamic

クルーズコントロール

- クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

設定時の表示(制限速度情報が有効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

クルーズコントロールをONにする



- スイッチ **1** を右にずらします。
- » ボタン**2**の操作がロック解除されています。

車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。

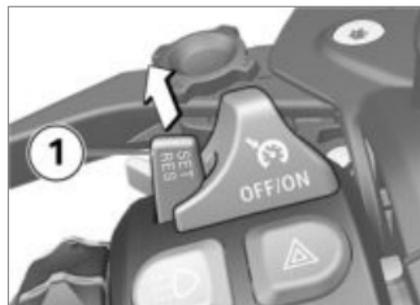
 クルーズコントロールの調整範囲

20...210 km/h

 クルーズコントロールインジケーターが点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。
- » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短押しします。
- » 操作ごとに速度が約 1 km/h づつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを OFF にする

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ(スロットル

を基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる) を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀

注意事項

ASC およびDTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀

- » クルーズコントロールインジケーターが消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン **1** を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

注意事項

スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀



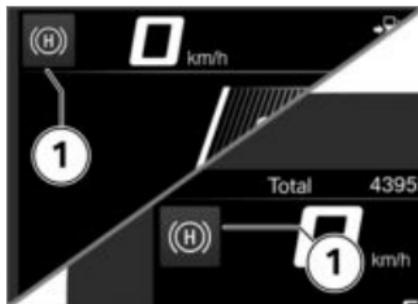
クルーズコントロールインジケータが点灯します。

クルーズコントロールをOFFにする



- スイッチ **1** を左方向へずらし
ます。
- » システムが OFF になります。
- » ボタン **2** がブロックされています。

発進アシスタント表示



発進アシストのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータスバーに表示されます。

Hill Start Control の操作 前提条件

車両が立っていること。



重要事項

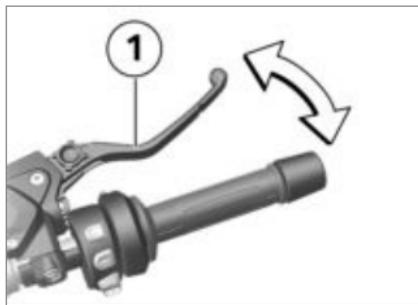
発進アシストの機能停止
事故の危険

- 手動のブレーキ動作で車両を停止させます。◀



注意事項

発進アシスト Hill Start Control は登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。◀



- ハンドブレーキレバー**1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。



緑色の停止アイコンが表示されます。

- » Hill Start Control は作動しています。
 - Hill Start Control をオフにするには、ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。
-  停止アイコンが非表示になります。
- その代わりに、1 速または 2 速で発進します。

注意事項

発進時、Hill Start Control は自動的にオフになります。◀

 ブレーキを完全に放すと、停止アイコンが非表示になります。

- » Hill Start Control はオフの状態です。
- Hill Start Control に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください。
- » 発進アシストの機能 (▶▶ 144)

Hill Start Control をオンおよびオフにする

- イグニッションを ON にする (▶▶ 54)。
- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- Hill Start Control をオンまたはオフにします。

Hill Start Control Pro を操作する

– 走行モード Pro^{OE} 装備

重要事項

**発進アシストの機能停止
事故の危険**

- 手動のブレーキ動作で車両を停止させます。◀

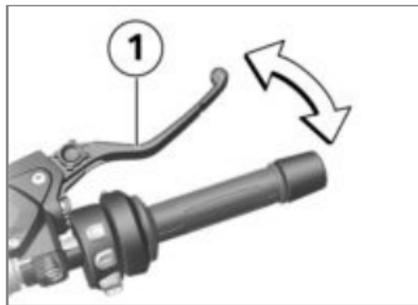
注意事項

発進アシスト Hill Start Control Pro は傾斜での発進を容易にするための一種のコンフォートシス

テムであり、パーキングブレーキに代わるものではありません。◀

注意事項

傾斜が 40 % 以上の場合には、発進アシスト Hill Start Control Pro を使用してはいけません。◀



- ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。
- 別の方法として、車両停止状態で傾斜 5 % 以上の場所から発進する場合に約 1 秒ブレーキ操作をします。

 緑色の停止アイコンが表示されます。

- » Hill Start Control Pro がオンになっています。
- Hill Start Control Pro をオフにするには、ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。

注意事項

Hill Start Control Pro がハンドブレーキレバーでオフになると、自動Hill Start Control はその後 4 m の間オフになります。◀

 停止アイコンが非表示になります。

- その代わりに、1 速または 2 速で発進します。

注意事項

発進時、Hill Start Control Pro は自動的にオフになります。◀

 ブレーキを完全に放すと、停止アイコンが非表示になります。

- » Hill Start Control Pro はオフの状態です。
- Hill Start Control Pro に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください。
- » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 144)

Hill Start Control Pro を調整する

– 走行モード Pro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 54)。
- メニュー Settings、Vehicle settings を呼び出します。
- HSC Pro を選択します。
- Hill Start Control Pro をオフにするには、Off を選択します。
- » Hill Start Control Pro はオフの状態です。

- 手動Hill Start Control Pro をオンにするには、Manual を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- 自動Hill Start Control Pro をオンにするには、Auto を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- » 車両停止状態で傾斜 5 %以上の場所から発進する場合に約 1 秒ブレーキ操作をすると、Hill Start Control Pro が自動的にオンになります。
- » 選択した設定は、イグニッションオフ後も維持されます。

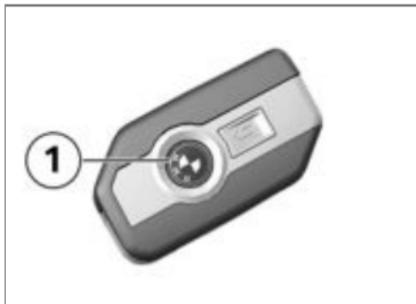
盗難警報装置(DWA)

– 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

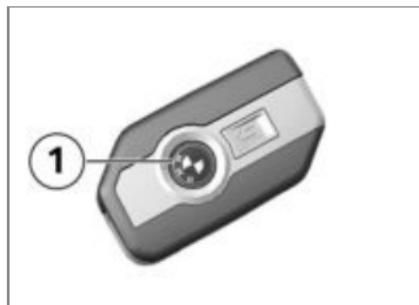
作動

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。
- DWA の調整(▶▶ 81)。
- イグニッションを OFF にします。
- » DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA はオンの状態です。

– Keyless Ride^{OE} 装備



- イグニッションを OFF にします。
- 無線キーのボタン **1** を 2 回押します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA はオンの状態です。



- モーションセンサーをオフにするには(モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン **1** をオンになる間に再度押します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。
- » 確認音が 3 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » モーションセンサーはオフの状態です。

アラーム信号

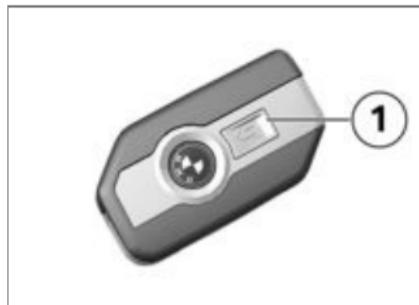
DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- 車両バッテリーからDWA を分離する (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ターンインジケーターの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

- Keyless Ride^{OE} 装備



アラーム音が作動しても、DWA を作動解除せずに無線キーのボタン **1** を操作して音を停止することができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

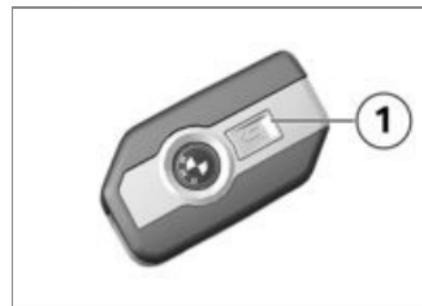
DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー
1

- 2 回点滅：モーションセンサー
2
- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅：モーションセンサー
3

DWA 作動解除するサドウカイジョスル

- イグニッションを ON にします。
- Keyless Ride^{OE} 装備



- ボタン **1** を短押しします。

- » ウィンカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。

DWA の調整

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 54)。
- メニュー Settings、Vehicle settings、Alarm system を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
 - Warning signal を調整する
 - Tilt alarm sensor をオンおよびオフにする
 - Arming tone をオンおよびオフにする
 - Arm automatically をオンおよびオフにする
- » 調整 (▶▶▶ 81)

調整

Warning signal: 立ち上がりおよび立ち下がりはまたは間欠的なアラーム音を設定します。

Tilt alarm sensor: 傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニターします。DWA はホイールの盗難やけん引きの場合などに反応します。

注意事項

車両の輸送時には傾斜センサーを作動解除し、DWA の発動を回避します。◀

Arming tone: DWA オン / オフ後のターンインジケーターの点灯に確認アラーム音を加えます。

Arm automatically: イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にします。

グリップヒーター

- グリップヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターの操作

注意事項

グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

注意事項

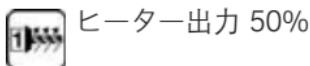
低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを始動する(▶▶▶ 121)。



- ボタン **1** を繰り返し押し、希望の暖房レベル **2** をグリップヒーターアイコン **3** の前に表示させます。

ハンドルグリップは 2 段階で暖めることができます。



ヒーター出力 50%



ヒーター出力 100%

- » 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を繰り返し押し、グリップヒーターアイコン **3** を非表示にします。

オンボードコンピューター ボードコンピューターを呼び出す

- メニュー My vehicle を呼び出します。
- メニュー パネル ON-BOARD COMPUTER が表示されるまで、右にめくります。

ボードコンピューターをリセットする

- ボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 82)。
- モメンタリボタン MENU 下を押します。

- Reset all values または Reset individual val. を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：

- Break
- Journey
- Current (TRIP 1)
- Av. speed.
- Av. consumption.

トリップボードコンピューターを呼び出す

- ボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 82)。
- メニュー パネル TRIP COMPUT. が表示されるまで、右にめくります。

トリップボードコンピューターをリセットする

- トリップボードコンピューターを呼び出す(▶▶▶ 82)。
- モメンタリボタン MENU 下を押します。

- Reset automatically または Reset all を選択し、確定します。
- » Reset automatically が選択されている場合、イグニッションオフから6時間以上が経ち、日付が変更になると、トラベルボードコンピューターは自動でリセットされます。

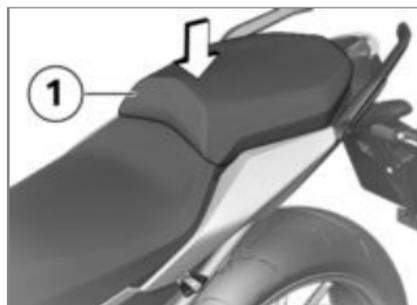
フロントおよびリヤシート リヤシートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- リヤシート **2** の前部を支えながら押し下げます。その際、シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保持しておきます。
- リヤシート前部を持ち上げ、キーを放します。
- リヤシート **2** を取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける



- 最初に、リヤシート **1** の後部をサポートの中にずらしませす。
- リヤシート **1** 前部を、力をこめて押し下げます。
- » リヤシートがはまる音が聞こえます。

フロントシートを取り外す

- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 83)。

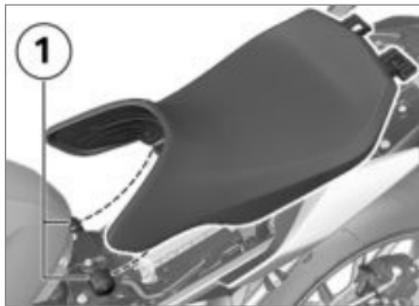
フロントシートはロック解除されています。

- フロントシート後部を取り外し、シートのカバー側を下にし

て、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(▶▶ 83)。



- フロントシートをフロント側サポート **1** にストップ位置まで押し込んでから、後部をのせます。

TFT ディスプレイ

一般的な情報	86
原理	87
Pure Ride ビュー	93
一般設定	95
Bluetooth	96
ご使用の車両	100
Navigation	103
メディア	105
TEL	105
ソフトウェアバージョンを表示する	106
ライセンス情報を表示する	106

一般的な情報

警告



警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください(ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。

- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます(▶▶ 97)。Connectivity 機能に関する詳細情報はこちらを参照してください：bmw-motorrad.com/connectivity



注意事項

燃料タンクが携帯端末機器と TFT ディスプレイの間にあると、Bluetooth 接続が制限される可能性があります。BMW Motorrad は、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケット

ポケットの中など) に収納することをお勧めします。◀



注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機

器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

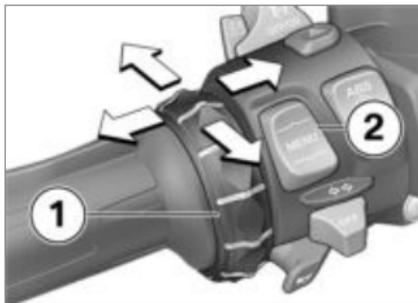
本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報はこちらを参照してください：

bmw-motorrad.com

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2** で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。

- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- 私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。

マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。

- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくり
ます。
- リストで右にスクロールしま
す。
- 私の車両メニューで：メニュー
画面を先にめくります。

MENU ロッカーボタンの機能

注意事項

メニュー-Navigationが呼び出され
ていない場合、ナビゲーション指
示はダイアログ形式で表示されま
す。モメンタリボタン MENU の
操作は一時的に制限されます。◀

MENUの上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に
切り替えます。
- Pure Ride 画面で：ライダー情
報ステータス欄の表示を切り替
えます。

MENUの上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画
面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作焦点を
Navigator に切り替えます。

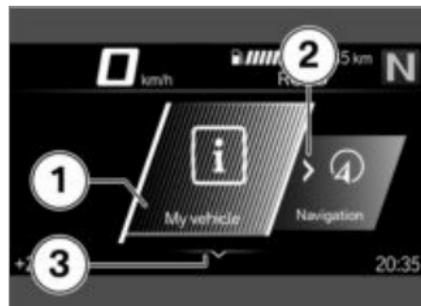
MENUの下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しま
せん。

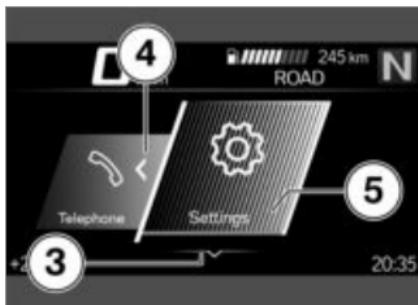
MENUの下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を
長押ししてメニューを切り替
えた後に、前回呼び出したメ
ニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情 報



操作情報は、どのような操作が
可能 / 不可能であることを示しま
す。

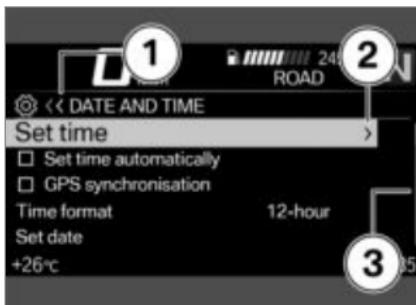


操作情報の意味：

- 操作情報 1: 左端に達していません。
- 操作情報 2: 右にめくることができます。
- 操作情報 3: 下にめくることができます。
- 操作情報 4: 左にめくることができます。
- 操作情報 5: 右端に達していません。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1: 現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。

- 操作情報 2: さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3: 項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- モメンタリボタンMENUの上部を長押しします。

機能を ON または OFF にする



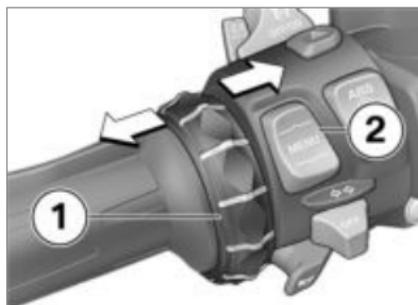
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能がONまたはOFFであることを示しています。メニュー項目の後ろにあるアク

ションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン **1** は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン **2** は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン **3** は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン **4** は、機能を ON にできることを示しています。

メニューの呼出し



- Pure Ride 画面を表示する(▶▶ 89)。
- ボタン **2** を下方へ短く押します。

以下のメニューを呼び出すことができます：

- My vehicle
- Navigation
- Media
- Telephone
- Settings

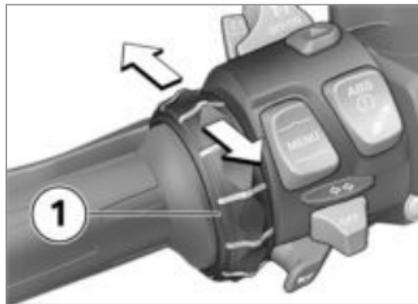
- マルチコントローラー **1** を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。

- ボタン **2** を下方へ短く押します。

注意事項

メニュー-Settingsは停車時のみ呼び出すことができます。◀

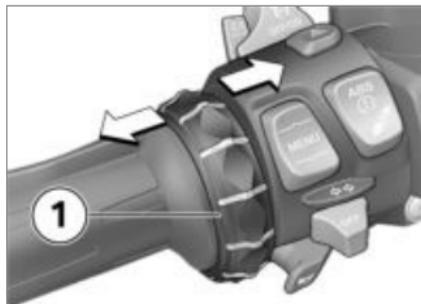
リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し(▶▶ 90)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー **1** を下に回します。
- リストのカーソルを上を移動させるには、希望の項目がマーク

されるまで、マルチコントローラー **1** を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー **1** を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロックボタンの下を長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

操作フォーカスの切替え

– NAV 取付けキット^{OE} 装備

Navigator が接続されている場合、Navigator と TFT ディスプレイの操作を切り替えることができます。

操作フォーカスを切替える

– NAV 取付けキット^{OE} 装備

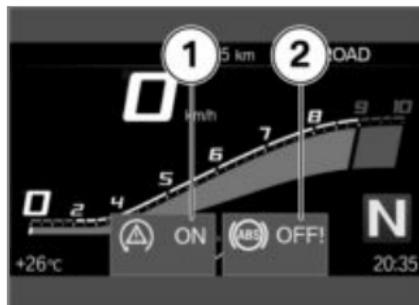
- NAV 取付けキット^{OE} 装備
- ナビゲーションシステム^{OA} 装備
- ナビゲーションシステムを確実に取り付ける(▶▶▶ 186)。
- Pure Ride 画面を表示する(▶▶▶ 89)。
- モメンタリボタンMENU の上部を長押しします。
- » 操作焦点がNavigator または TFT ディスプレイに切り替わります。上部のステータスバーの左に、それぞれ作動している機器がマークされています。オペレータ操作は、操作

フォーカスが再び切替えられるまで、それぞれ作動している機器に対して行われます。

» ナビゲーションシステムを操作する(▶▶▶ 188)

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

- システムステータス **1**：ASC/DTC 機能が ON です。
- システムステータス **2**：ABS 機能が OFF です。

ライダー情報ステータス欄の表示を切り替える

前提条件

車両が立っていること。
Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする(▶▶ 54)。
- » TFT ディスプレイではボードコンピューター(例TRIP 1)およびトラベルボードコンピューター(例TRIP 2)からの公道の運転に必要な全ての情報が提供されます。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。
- ライダー情報ステータスバーの内容を選択する(▶▶ 93)。



- ボタン **1** を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン **1** を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 **2** の値を選択します。

次の値が表示可能です：

- 積算距離計 Total
- トリップメーター距離 1 TRIP 1
- トリップメーター距離 2 TRIP 2

 平均燃費 1

 平均燃費 2

 走行時間 1

 走行時間 2

 休止時間 1

 休止時間 2

 平均車速 1

 平均車速 2

 タイヤ充填圧

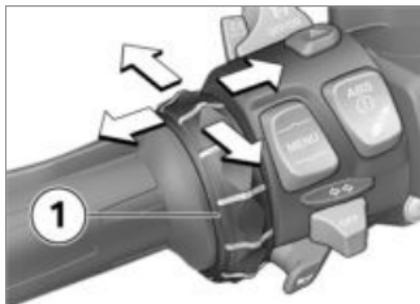
 燃料残量メーター

 Range

ライダー情報ステータスバーの内容を選択する

- メニュー-Settings、Display、Status line content を呼び出します。
- 希望の表示をオンにします。
- » ライダー情報ステータスバーで、選択した表示を切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、航続距離のみが表示されます。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。

- マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
- 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
- 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

道路標識認識をオンまたはオフにする

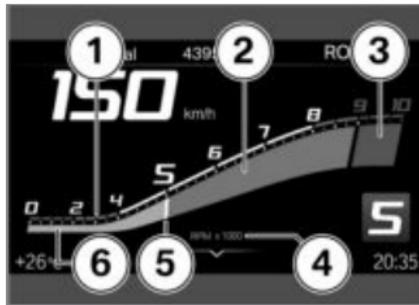
前提条件

車両がNavigator または互換性があるモバイル端末機器と接続されていること。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされていること。

- Speed Limit Info は現在許可されている最高速度を表示します。
- メニュー-Settings、Display を呼び出します。

- Speed Limit Info をオンまたはオフにします。

Pure Ride ビュー エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低い回転数範囲
- 3 高い / 赤い回転数範囲
- 4 指針
- 5 トレーリングポインター
- 6 回転数表示の単位：
1000 rpm

**注意事項**

クーラント温度に応じて赤色の回転数範囲は変化します：

エンジンが冷たくなればなるほど、赤色の回転数範囲が始まる回転数は低くなります。

エンジンが暖かくなればなるほど、赤色の回転数範囲が始まる回転数は高くなります。

作動温度に到達すると、赤色の回転数範囲の表示は変化しなくなります。

シフトアップ推奨もまたダイナミックに適合されます。◀

Range

走行可能距離 **1** は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行できるかを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

– モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、その傾きのために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行可能距離の再算出はサイドスタンドを格納した状態でのみ正しく実施できます。

- 走行可能距離は、リザーブ容量到達後に警告とともに表示されます。
- 給油後に、燃料の量がリザーブ容量を超えている場合には、走行可能距離を新たに算出します。
- 算出された走行可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨

シフトアップ推奨 **1** は燃費面で最良のシフトアップ時点を知らせます。

一般設定

音量を調整する

- ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する(▶▶▶ 98)。
- 音量を上げる：マルチコントロールを上に回します。
- 音量を下げる：マルチコントロールを下に回します。
- ミュートにする：マルチコントロールを一番下まで回します。

日付を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 54)。
- メニュー-Settings、System settings、Date and time、Set date を呼び出します。
- Day、Month およびYear を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー-Settings、System settings、Date and time、Date format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 54)。



警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- メニュー-Settings、System settings、Date and time、Set time を呼び出します。
- Hour およびMinute を調整します。

表示時刻形式を設定する



警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- メニュー-Settings、System settings、Date and time、Time format を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

GPS 同期のオン/オフ

– NAV 取付けキット^{OE} 装備

- メニュー-Settings、System settings、Date and time を呼び出します。
- GPS synchronisation をオンまたはオフにします。
- » Navigator で対応するオプションが有効になっている場合は、

Navigator の時間が引き継がれます。

– ナビゲーションシステム^{OA} 装備

» 特別機能 (▶▶▶ 191)◀

表示単位を設定する

- メニュー Settings、System settings、Units を呼び出します。

設定可能な単位は以下の通りです：

- 走行距離
- 圧力
- 温度
- 車速
- 燃費

言語を設定する

- メニュー Settings、System settings、Language を呼び出します。

設定可能な言語は以下の通りです：

- 中国語

– ドイツ語

– 英語

– スペイン語

– フランス語

– イタリア語

– オランダ語

– ポルトガル語

– ロシア語

– ウクライナ語

– ポーランド語

– トルコ語

明るさを調整する

- メニュー Settings、Display、Brightness を呼び出します。
- 明るさを調整します。

すべての設定をリセットする

- メニュー Settings のすべての設定を初期設定にリセットすることができます。
- メニュー Settings を呼び出します。

- Reset all を選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- Vehicle settings
- System settings
- Connections
- Display
- Information

» 接続中の Bluetooth 接続は削除されません。

Bluetooth

近距離無線技術

Bluetooth 機能は、国別の仕様や状況により、提供されない場合があります。

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス（限定された受信可能距離で伝送）として、使用料のかからない 2.402 GHz～2.480 GHz の ISM 帯（産業、科学および医療

帯)で通信します。このデバイスは世界中で自由に使用することができます。

Bluetoothは、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されていますものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が障害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を1つのBluetoothネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されているBluetooth標準規格が不十分な機器
- 周辺に他のBluetooth対応機器がある

Pairing

2つのBluetooth機器を相互接続する前に、相互認識を行う必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

注意事項

iOSオペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected Appを呼び出す必要があります。◀

ペアリングの際、TFTディスプレイは自分の受信範囲内にある他のBluetooth対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 機器のBluetooth機能がオンになっていること
- 機器が他の機器から「検知可能」になっていること

- ユニットはレシーバーとしてA2DPプロファイルをサポートしてなければなりません。
- その他のBluetooth対応機器がOFFになっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

Pairing を実行する

- メニュー-Settings、Connectionsを呼び出します。
 - » メニュー-CONNECTIONSでは、Bluetooth接続を設定、管理、削除することができます。以下のBluetooth接続が表示されます：
 - Mobile device
 - Rider's helmet
 - Passenger helm.
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- Pairing を実行する(▶▶▶ 97)。
- モバイル端末機器の Bluetooth 機能をオンにします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
- Mobile device を選択し、確定します。
- Pair new mobile device を選択し、確定します。

携帯端末機器をサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器の指示に注意してください。
- コードが一致しているか確認します。
- ▶▶▶ 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。

- ▶▶▶ 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 201)
- ▶▶▶ モバイル端末機器によっては、電話データが車両へ自動的に伝送されます。
- ▶▶▶ 電話データ (▶▶▶ 106)
- ▶▶▶ 電話帳が表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 202)
- ▶▶▶ Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 202)

ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する

- Pairing を実行する(▶▶▶ 97)。
- Rider's helmet または Passenger helm. を選択し、確定します。

- ヘルメットの通信システムを見えるようにします。
- PAIRING NEW HELMETS または PAIRING NEW PASS. HELM. を選択し、確定します。ヘルメットをサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択し、確定します。
- ▶▶▶ 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- ▶▶▶ 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 201)
- ▶▶▶ Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 202)

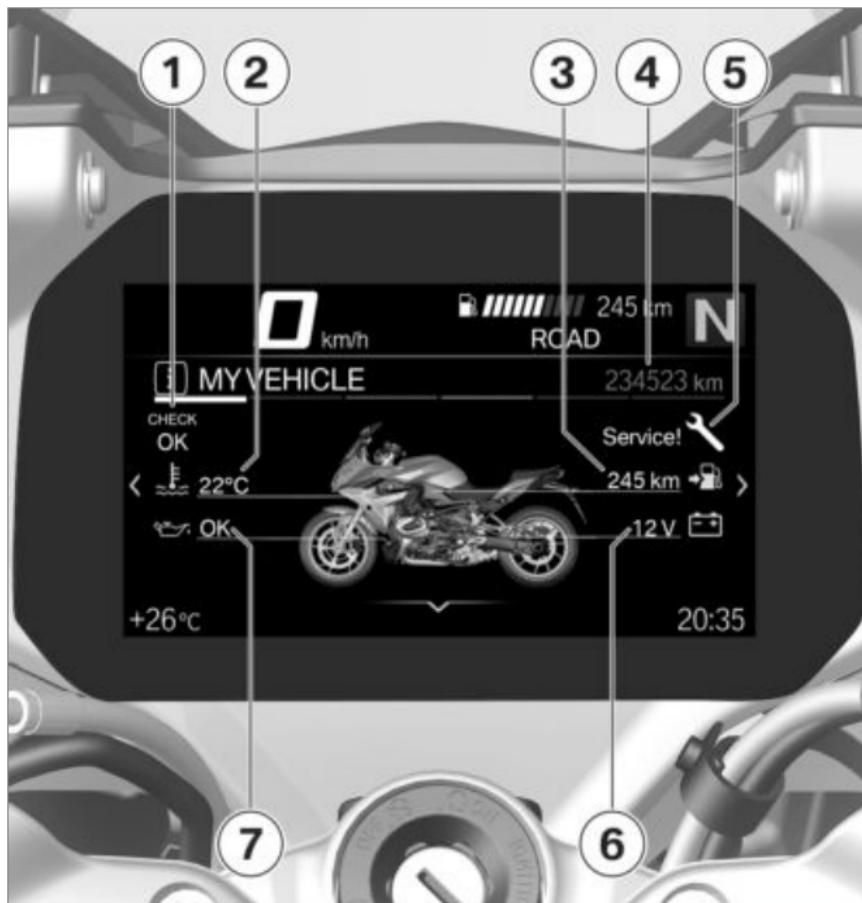
接続を削除する

- メニューSettings、Connections を呼び出します。
- Delete connections を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、Delete all connections を選択し、確定します。

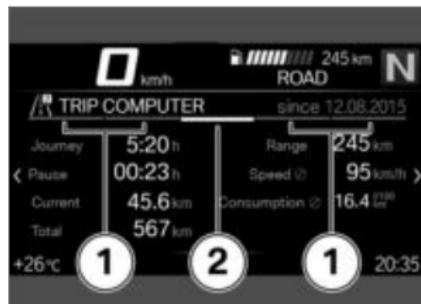
ご使用の車両

スタート画面

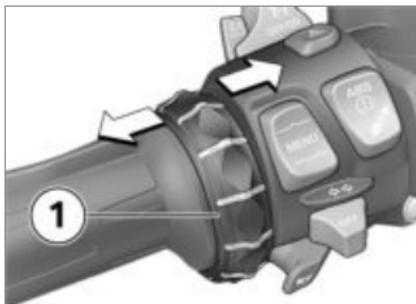
- 1 チェックコントロール表示
表示 (▶▶▶ 28)
- 2 冷却水温警告灯 (▶▶▶ 42)
- 3 Range (▶▶▶ 94)
- 4 総キロメートル
- 5 サービス表示 (▶▶▶ 51)
- 6 車両電装システム電
圧 (▶▶▶ 171)
- 7 エンジンオイルレベ
ル (▶▶▶ 42)



操作情報



メニューパネルのページをめくる



- メニュー-My vehicle を呼び出します。
- 右にめくるには、Multi-Controller **1** を右に短く押します。
- 左にめくるには、Multi-Controller **1** を左に短く押します。

メニューの私の車両には以下のパネルがあります：

- MY VEHICLE
- CC メッセージ (存在している場合)
- ON-BOARD COMPUTER

- TRIP COMPUT.
- SERVICE REQUIREMENTS
- タイヤ空気圧および CC メッセージに関する詳細なインフォメーションは次の章「表示」にあります。



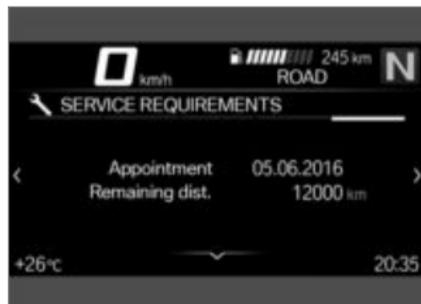
注意事項

チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、私の車両メニューのメニュー画面に追加タブとして添付されます。◀

ボードコンピューターおよびトリップボードコンピューター

メニューパネルON-BOARD COMPUTER および TRIP COMPUT. は、車両データおよび平均値などの走行データを表示します。

サービスの必要性



次のサービス実施までの期間が1カ月以内になるか、次のサービス実施までの距離が1000 km以内になると、白でCCメッセージが表示されます。

Navigation

警告



警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください(ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。

- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と接続されていること。

前提条件

接続されている携帯端末機器にBMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する(▶▶▶ 98)。

- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニュー—Navigation を呼び出します。
 - » オンになっている目的地ガイドが表示されます。
 - » アクティブ目的地ガイドが表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 203)

目的地を過去の目的地から選択する

- メニュー—Navigation、Recent destinations を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- Start route guidance を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニュー—FAVOURITES は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されて

いるすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイで、新しくお気に入り登録することはできません。

- メニューNavigation、Favourites を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- Start guidance を選択します。

特別目的地を入力する

- 観光名所などの特別目的地をマップに表示させることができます。
- メニューNavigation、POIs を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- At current location
- At destination
- Along the route

- どの場所の特別目的地を検索するか選択します。

例えば以下の特別目的地を選択することができます：

- Filling station

- 特別目的地を選択し、確定します。
- Start route guidance を選択し、確定します。

ルートの詳細条件を決める

- メニューNavigation、Route criteria を呼び出します。
- 以下の詳細条件を選択することができます：

- Route type
- Avoid
- 希望のRoute type を選択します。
- 希望のAvoid をオンまたはオフにします。

有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

目的地ガイドを終了する

- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- End route guidance を選択し、確定します。

音声指示をオンまたはオフにする

- ライダーヘルメットとタンデム同乗者用ヘルメットを接続する(▶▶▶ 98)。
- ナビゲーションを機械音声で出力することができます。そのためにはSpoken instructions がオンになっている必要があります。
- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- Spoken instructions をオンまたはオフにします。

直前の音声指示を繰り返す

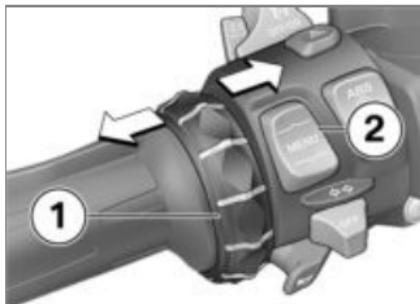
- メニューNavigation、Active route guidance を呼び出します。
- Current instruction を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューMedia を呼び出します。



注意事項

BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。◀

- 音量を調整する(▶▶▶ 95)。
- 次のタイトル: Multi-Controller **1** を右に短く押しします。
- 前回のタイトルまたは現在のタイトルの最初: Multi-Controller **1** を左に短く押しします。
- 早送り: Multi-Controller **1** を右に長押しします。
- 巻き戻し: Multi-Controller **1** を左に長押しします。
- コンテキストメニューを呼び出す: ボタン **2** を下に押しします。



注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

- » コンテキストメニューでは以下の機能が使用できます:
 - Start playback またはPause playback.

- 検索および再生には、カテゴリ—Now playing、All artists、All albums またはAll tracks を選択します。
- Playlists を選択します。

サブメニューAudio options では以下の設定を行うことができます:

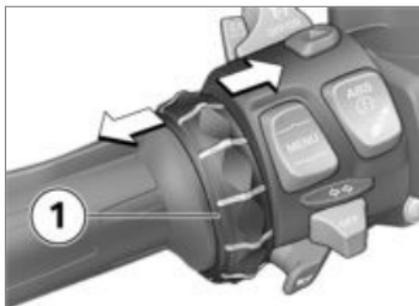
- Shuffle をオンまたはオフにします。
- Repeat: Off、One (現在のタイトル) またはAll を選択します。

TEL

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話をする



- メニューTelephone を呼び出します。
- 電話を受ける： Multi-Controller **1** を右に押します。
- 電話を拒否する： Multi-Controller **1** を左に押します。
- 通話を終了する： Multi-Controller **1** を左に押します。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニューTelephone に表示されます。2 つの通話間で切り替えを行うことができます。

電話データ

モバイル端末機器によっては、Pairing (▶▶ 97) 後に電話データが車両へ自動的に伝送されません。

Phone book: モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

Call list: モバイル端末機器での通話リスト

Favourites: モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニューSettings、Information、Software version を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニューSettings、Information、Licences を呼び出します。

調整

ミラー	108
ウインドシールド	108
ヘッドライト	109
クラッチ	110
シフトレバー	111
ブレーキ	112
フットレスト	113
スプリングプリロード	114
ショックアブソーバー	116

ミラー ミラーを調整する



- ミラーヘッドを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する

重要事項

ミラーアームと他のコンポーネントの衝突。

コンポーネントの損傷

- ミラーアーム正しく調整します。ミラーアームのマークに注意します。◀



- ミラーアームを回します。

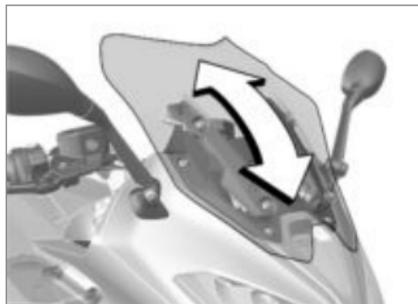


- マーク 1 が同一線上に来るようにします。

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する 前提条件

モーターサイクルを停車させます。



警告

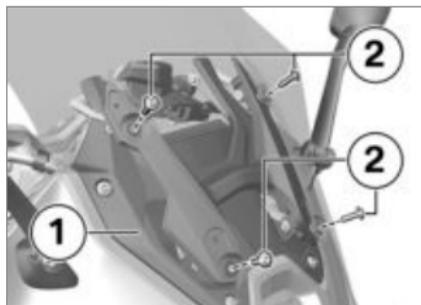
走行中のウインドシールドの調整 転倒の危険

- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- ウインドシールドを上方向または下方向へ動かします。

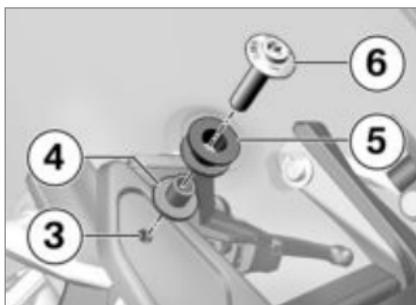
» ウィンドシールドは、スプリング力により、上端位置または下端位置で保持されます。

ウィンドシールドを動かす

- ウィンドシールドは2つの位置で車両に固定することができます。



- ウィンドシールド **1** の位置を変更する場合には、すべてのボルト **2** を取り外し、ウィンドシールドを取り外します。



- ウィンドシールドを適切なボルト **3** にセットします。その際、プッシュ **4** (下側から組み込まれている) とラバーグロメット **5** に注意してください。
- 4本のすべてのボルト **6** を取り付けます。

 ウィンドシールドとホルダー

2.4 Nm

ヘッドライト

光軸およびスプリング調整

通常、積載条件に応じてスプリング調整を調整することにより、光軸は常に一定になります。積載量が極めて多い場合に限り、スプリング調整の適合では不十分になる可能性があります。その場合は、光軸を重量に合わせて調整する必要があります。



注意事項

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

クラッチ

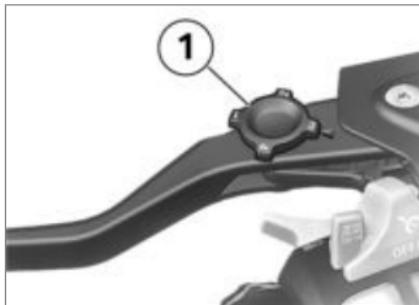
クラッチレバーを調整する



警告

走行中のクラッチレバーの調整 事故の危険

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- 調整ホイール**1**をご希望の位置に回します。



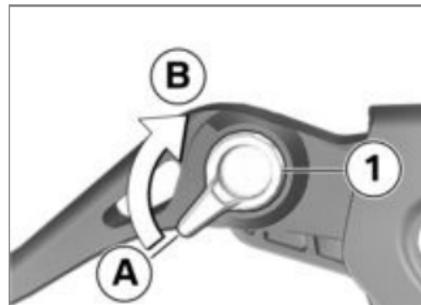
注意事項

その際、クラッチレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：

- **ポジション 1:** ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- **ポジション 4:** ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

- フライス部品パッケージ Classic (Option 719) 装備^{OE} または
- フライス部品パッケージ Storm (Option 719) 装備^{OE} または
- HP フライス部品パッケージ 装備^{OE}



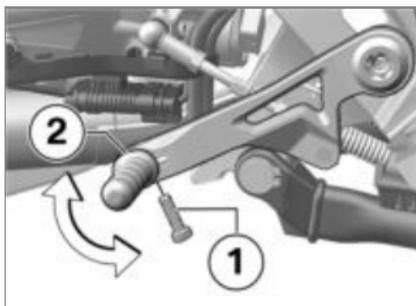
- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。
- » 選択できる設定：
 - **ポジション A** から： ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小。
 - ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔を拡大するに

は、ポジション **B** の方向へ5段階。◁

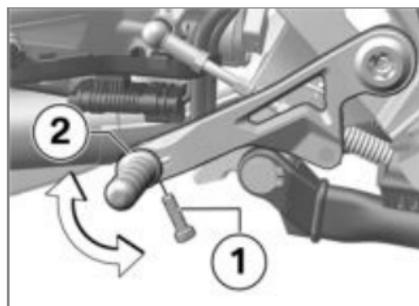
シフトレバー

- フライス部品パッケージ Classic (Option 719) 装備^{OE}
- または
- フライス部品パッケージ Storm (Option 719) 装備^{OE}
- または
- HP フライス部品パッケージ 装備^{OE}

シフトレバーのステップパーツを調整する



- ステップパーツと足の間隔ならびにステップパーツまでの高さ **2** は、様々な位置に回すことで調整可能です。
- ボルト **1** を取り外します。



- ネジ山を清掃する。
- ステップパーツ **2** を任意のポジションに回します。
- **新しい**ボルト **1** を取り付けます。

 ステップパーツとシフトレバー

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

10 Nm

ブレーキ

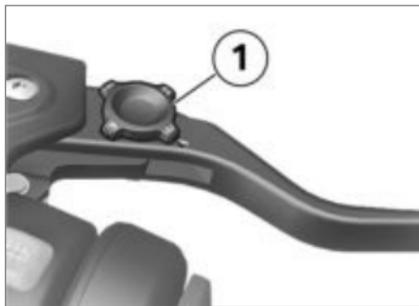
ブレーキレバーを調整する



警告

走行中のブレーキレバーの調整 事故の危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール**1**をご希望の位置に回します。



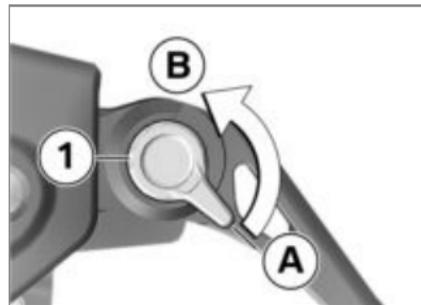
注意事項

その際、ブレーキレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：

- **ポジション 1:** ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
- **ポジション 4:** ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

- フライス部品パッケージ Classic (Option 719) 装備^{OE} または
- フライス部品パッケージ Storm (Option 719) 装備^{OE} または
- HP フライス部品パッケージ 装備^{OE}

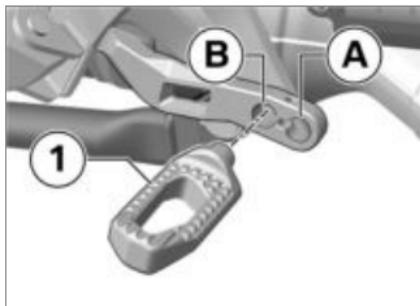


- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。
- » 選択できる設定：
- **ポジション A:** ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小。
- ハンドルグリップとハンドブレーキレバー間の間隔を拡大す

るには、**B** 方向へ 5 段階で設定します。◀

ブレーキペダルのステップ パーツを調整する

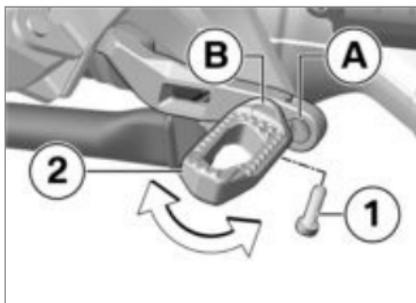
- フライス部品パッケージ Classic (Option 719) 装備^{OE}
または
- フライス部品パッケージ Storm (Option 719) 装備^{OE}
または
- HP フライス部品パッケージ 装備^{OE}



- ステップパーツと足の間隔ならびにステップパーツまでの高さ **1** は、180° の回転および **A**

または **B** の位置に取り付けることで調整可能です。

- ボルト **1** を取り外します。



- ネジ山を清掃する。
- ステップパーツ **2** を任意のポジション **A** または **B** に取り付けます。
- ステップパーツ **2** を任意のポジションに回します。
- 新しいボルト **1** を取り付けます。



ステップパーツとブレーキペダル

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

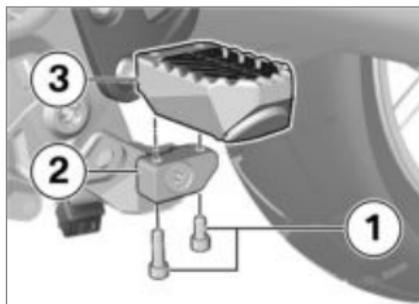
10 Nm

フットレスト

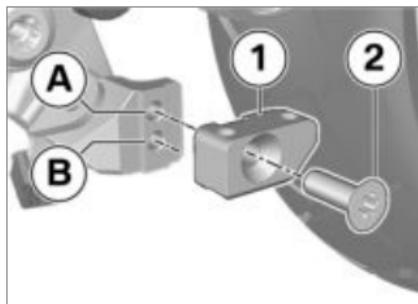
- フライス部品パッケージ Classic (Option 719) 装備^{OE}
または
- フライス部品パッケージ Storm (Option 719) 装備^{OE}
または
- HP フライス部品パッケージ 装備^{OE}

フットレストの調整

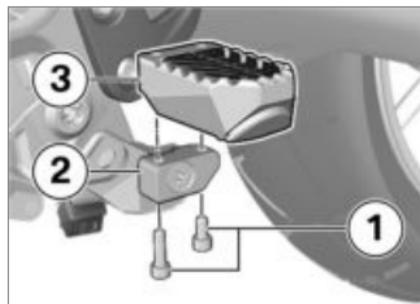
- フットレストの調整は左右ともに同じ方法で行われます。
- フットレストの位置調整は車体の左右で同じでなければなりません。



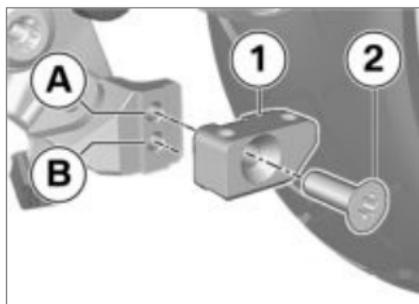
- ボルト **1** を取り外します。
- フットレスト **3** をクランプ台 **2** から取り外します。



- クランプ台 **1** を希望の位置 **A** または **B** に取り付け、ボルト **2** を締め付けます。



- フットレスト **3** をクランプ台 **2** に位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。



- ボルト **2** を取り外します。
- クランプ台 **1** を取り外します。



クランプ台とフットレスト
トジョイント

20 Nm



フットレストとクランプ
台

10 Nm

- フットレストをもう一方の側でも同じ方法で脱着します。

スプリングプリロード

- Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。



スプリングプリロードを調整する(リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀



警告

走行中のスプリングプリロードの調整。

事故の危険

- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停

止させた状態で行ってください。◀

- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ **1** をLOWの矢印の方向へ回します。
- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ **1** をHIGHの矢印の方向へ回します。

 リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブをストップ位置までLOW方向に回す。(1名乗車+荷物積載なし)

アジャストノブをストップ位置までLOW方向に、その後15回転分HIGH方向に回す。(1名乗車+荷物積載)

アジャストノブをストップ位置までHIGH方向に回す。(2名乗車+荷物積載)

ショックアブソーバー

– Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

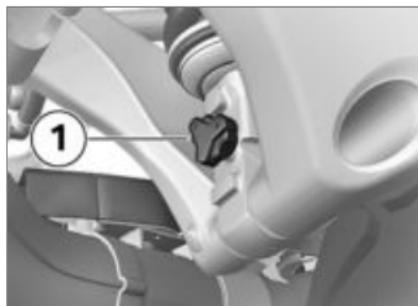
– 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。

– スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する(リヤホイール)

• 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- ショックアブソーバーの設定を車両の左側面から実行します。



- アジャストノブ **1** を時計回りに回し、ダンピングを高くします。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回し、ダンピングを低くします。



リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回してから、反時計回りに6クリック分回します。(1名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回してから、反時計回りに4クリック分回します。(1名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回します。(後席乗車時、荷物積載あり)

走行

安全に関する注意事項.....	118
チェックリストを確認し、遵守する.....	120
走行開始のたびに：	120
燃料補給 3 回目ごと.....	120
始動	121
慣らし走行	123
ギヤチェンジ.....	124
ブレーキ.....	125
駐車する.....	127
給油	128
モーターサイクルを搬送用に固定 します	132

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

ローダウンシャシー仕様のモーターサイクルの場合、標準シャシー仕様のモーターサイクルと比べて、バンク角度が小さくなり、最低地上高も低くなります。



警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。◀

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

モーターサイクルをローダウン仕様にするにより、スプリングトラベルは短くなります(「テクニカルデータ」の章を参照)。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走行においては専用スプリング調整を調整する必要があります。

荷物の積み込み



警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリング調整およびダンピングの設定を車両重量に合わせて調整します。
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。

- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリ」の章も参照)。
- トップケースOA 装備
- トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリ」の章も参照)。◁
- タンクバッグ(小)OA 装備
- タンクバッグ(小)の最大積載と最高車速に注意してください。

 タンクバッグ(スモール)の積載荷重

max 5 kg

 タンクバッグ(スモール)を装着して走行する場合の速度制限

max 180 km/h<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- スプリングシステムおよびダンパーシステムの間違った調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗
- その他

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

警告

健康を害するおそれのある排ガス窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険

注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイヤによる未燃焼燃料がカタライザーに流入する場合、異常過熱および損傷が発生する恐れがあります。

以下の基準を守ってください：

- フューエルタンクが空の状態では走行しない。
- スパークプラグコネクタを外したままエンジンを作動させない。
- エンジンのミスファイアが発生した場合にはただちに停止させる。
- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。

重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料
触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート

重要事項

長時間のアイドリング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造

重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)
関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的な点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検する(▶▶▶ 157)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(▶▶▶ 158)。
- タイヤ充填圧を点検する(▶▶▶ 158)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

燃料補給 3 回目ごと

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 151)。

- フロントブレーキパッド厚を点検します(▶▶▶ 153)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します(▶▶▶ 154)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 155)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 156)。
- クーラントレベルを点検する(▶▶▶ 157)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
- ▶▶▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 121)
- ▶▶▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 122)
- ▶▶▶ ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 123)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

注意事項

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で1速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きます。



- スターターボタン **1** を押します。

注意事項

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。◀

- ▶▶▶ エンジンが始動します。
- ▶▶▶ エンジンが始動しない場合は、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶▶ 200)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルにより指針型メーター、インジケーターおよび警告灯のテスト「Pre-Ride-Check」が実行されます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

速度表示の指針がストップ位置まで動きます。同時にすべてのインジケータおよび警告灯が次々に ON になります。ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。

ステップ 2

速度表示の指針が初期位置に移動します。同時に、ON になっているすべてのインジケータおよび警告灯が次々に逆の順序で OFF になります。ジェネラル警告灯が赤色から黄色に変わります。

速度表示の指針が動かないか、またはインジケータ/警告灯の 1 つが ON にならなかった場合：

**警告**

警告灯の故障

機能障害の表示が出ない

- すべてのインジケータ / 警告灯の表示に注意してください。◀
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

ステップ 2

- » 発進時のホイール回転数センサーの点検。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 表示灯 / 警告灯が消灯します。
- すべてのインジケータ / 警告灯の表示に注意してください。



ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります：5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ABS もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC 自己診断

BMW Motorrad ASC/DTC が作動可能状態にあるかどうか、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。

ステップ 2

- » 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。



ASC インジケーター / 警告灯が低速で点滅します。

ASC/DTC 自己診断が終了

» ASC/DTC インジケーターおよび警告灯が消灯します。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。



ASC/DTC 自己診断が終了していません

ASC/DTC は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： 5 km/h)

ASC/DTC 自己診断の終了後に、ASC/DTC の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに

故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 初回点検までは、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン回転数

<5000 min⁻¹ (走行距離 0...1000 km)

フルロードなし (走行距離 0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



慣らし運転までの走行距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 最初にブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

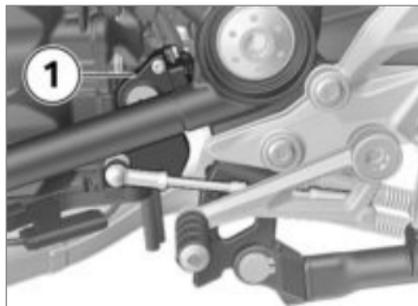
—シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro



注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。
- » シフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。その際、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。

- オートマチックは関係がありません。
- ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決めます。
- » シフトシャフトのセンサー 1 が希望のシフトを検知し、シフトサポートを行います。
- » 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転域におけるギヤシフトアシスタント Pro の使用は避けてください。
- » 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - クラッチが操作されている場合。
 - シフトレバーが初期位置にない場合
- スロットルバタフライを閉じた状態(惰性走行) または減速時のシフトアップ。
- スロットルバタフライを開いた状態でシフトダウンする時、またはアクセル開時。
- ギヤシフトアシスタント Pro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。
- » シフトアシスト Pro に関する詳細なインフォメーションは「技術情報」の章を参照してください：
- » ギヤシフトアシスト Pro (▶▶ 142)

ブレーキ

制動距離を最短にするには

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロント

ホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる極端なフルブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力を完全には路面に伝達できなくなります。フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS によって回避されます。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかけるオーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の喪失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンプレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。

- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れた路面を走行したとき。



警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro

- 走行モードPro^{OE} 装備

走行における物理的限界



警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクキーな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro およびDynamic Brake Control がサポートする機能は、すべての走行モードで使用することができません。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro およびDynamic Brake Control がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に万全のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro およびDynamic Brake Control は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、ABS Pro は走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。エマージェンシーブレーキング時には、ブレーキ動作中に誤ってスロットルグリップが操作された場合に、Dynamic Brake Control によってブレーキ作用を高めて介入します。

注意事項

ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- ハンドルを左に回します。

- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

センタースタンド

—センタースタンド^{OE} 装備

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

急な動きが加えられるとメイン(センター)スタンドが折りたたまれる

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター)スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀

- メイン(センター) スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費となるよう、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。

重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。◀

- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク)(最大 15% エタノール、E0/E5/E10/E15)
95 ROZ/RON
90 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラーガソリン(出力および燃費の制約。)(最大 15% エタノール、E0/E5/E10/E15)
91 ROZ/RON
87 AKI

- » 低品質の燃料を給油した後は、場合によっては散発的にノッキング音が聞こえることがあります。

給油手順



警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

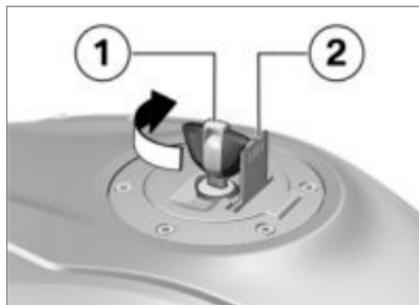


重要事項

プラスチック表面に燃料が付着

表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- 燃料タンクのロックをイグニッションキー **1** を使用して時計回りにロック解除し、開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端(MAX位置)まで補給します。

注意事項

燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。◀

注意事項

テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空

に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 タンク容量

約 18 l

 燃料残量

約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。

警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
- イグニッションスイッチをOFFにする(▶▶ 55)。

注意事項

イグニッションをOFFにした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀

 タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

2 min

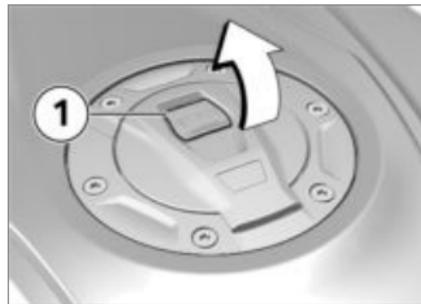
- ▶ タンクキャップは、以下の**2つの方法**で開くことができます：
 - アフターランニング時間内。
 - アフターランニング時間の経過後。

バリエーション 1

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間内：



- フューエルキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- ▶ タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション 2

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間の経過後：

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- フューエルキャップのシャックル **1** を再度ゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィルターネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注意事項

燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が OFF になります。◀



注意事項

テクニカルデータ (仕様諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空

に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



タンク容量

約 18 l



燃料残量

約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押しします。
- » タンクキャップが音とたててはまります。
- » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
- » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション ON に伴い、ただちにロックがかかります。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- 固定ベルトを取り回すすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します (接着テープや柔らかい布などを使用してください)。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

- 転倒によるコンポーネントの損傷
- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀

- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン (センター) スタンドで立てないでください。

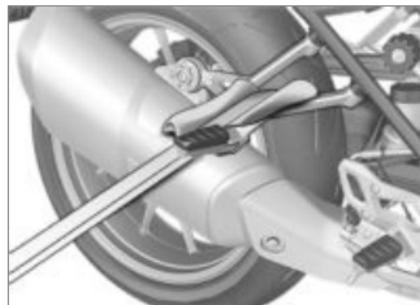


重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント (ブレーキラインやケーブルなど) が挟み込まれないようにしてください。◀
- 左右の固定ベルトをフォークブリッジに通して、下方にテンションを掛けます。



- リア固定ベルトの両側をパッセンジャー用フットレストホルダーに取り付けてピンと張りませす。
- すべての固定ベルトを均等に張り、車両を確実に固定します。

技術情報

一般的な情報	134
アンチロックブレーキシステム (ABS)	134
オートマチックスタビリティコン トロール (ASC)	137
ダイナミックトラクションコン トロール (DTC)	137
Dynamic ESA	139
走行モード	140
Dynamic Brake Control	141
シフトアシスト	142
ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)	144

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

[bmw-motorrad.com/
technology](http://bmw-motorrad.com/technology)

アンチロックブレーキシステム (ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合は、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、できるかぎり制動距離を短くするため、ABS 制御によるブレーキング中のフロント / リヤブレー

キ間の制動力配分を、モーターサイクルの荷重条件に合わせて行います。



重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みる
リヤブレーキおよびクラッチの損傷

- バーンアウトを行わないこと。◀

ABS はどのように機能するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときABS は、想定し

うるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数(砂利、凍結、雪の場合)をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

ABSの作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか?

前述の状況により、ABSシステムが制動力を制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。

ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、かつ、減速が迅速な場合、状況によってはABSはリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

**急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり
転倒の危険**

- 急ブレーキの際には、ABS制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

ABSはどのように設計されているのでしょうか?

ABSは、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特別

な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長時間にわたり、正常でない値が検知されると、安全のためにABSが停止し、ABSの故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABSの問題の他にも、特殊な走行状態が原因となりエラーメッセージが表示される場合があります：

— センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。

ー エンジンブレーキにより長時間ロックされたリアホイール(滑りやすい路面での発進など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキングすることは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS を装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABS からABS Pro への改良

ー 走行モードPro^{OE} 装備

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、素早いブレーキ操作時におけるホイールのロックを回避します。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化

度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

オートマチックスタビリティコントロール(ASC)

ASCはどのように機能するのでしょうか？

ASCは、フロントホイールとリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

ASCはどのように設計されていますか？

ASCは、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASCの制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、ASCをOFFにできます。



警告

リスクな走行

ASC搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

ダイナミックトラクションコントロールはどのように 작동するのでしょうか？

トラクションコントロールには2つの特徴があります

- バンク角を考慮しない場合：オートマチックスタビリティコントロールASC
- ASCは、転倒を回避するための基本的な機能です。
- バンク角を考慮する場合：ダイナミックトラクションコントロールDTC
- DTCの制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、より精細かつ快適になります。

ダイナミックトラクションコントロールはフロントホイールとリヤホイールのホイール周速を比較します。速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定

性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。



警告

リスクな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、DTC ではASC に対してバンク角が考慮されます。

ー 走行モード Pro^{OE} 装備

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されません。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- ー 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- ー フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。

ー 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。



DTC を ON にするため
の最低速度

min 5 km/h

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC または DTC が走行モード RAIN および ROAD でトルクを抑えます。

DTC 設定 DYNAMIC および DYNAMIC PRO では、フロントホイール浮き上がり検知により一時的なウィリー走行が可能になります。

走行モード RAIN、ROAD および DYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

走行モードDYNAMIC PRO では、DTC を様々な設定することができます (▶▶▶ 72)。

BMW Motorrad は、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンプレーキトルクによりリアホイールが滑り、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad DTC による補正を行うことはできません。

Dynamic ESA

– Dynamic ESA^{OE} 装備

走行状態補正

電子調整式サスペンションDynamic ESA はモーターサイクルを自動的に積載状態に適合させることができます。スプリング調整をAuto に設定すると、ライダーは積載調整を行う必要はなくなります。

注意事項

BMW Motorrad はサスペンション設定Auto を推奨します。◀

発進時および走行中は、システムによりリアホイールのスプリングデフレクションのモニターならびにスプリング調整の修正が行われることによって、正しい走行状態に調整されます。ダンピングも同様に積載状態に自動的に適合されます。

Dynamic ESA は車高センサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応して EDC バルブを調整します。これにより、サスペ

ンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的な間隔でキャリブレーションされ、システムの正しい作動原理が確保されます。

調整

ダンピングモード

- Road: 快適なオンロード走行用のダンピング
- Dynamic: ダイナミックなオンロード走行用のダンピング

積載設定

- Auto: スプリング調整とダンピングの自動設定を行うアクティブな走行状態補正 (推奨サスペンション設定)
- Min: 最小のスプリング調整 (1 名乗車時のみ)
- Max: 最大のスプリング調整 (タンデム走行時のみ)

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態および希望するドライビング体験に合わせることができるように、以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN
- ROAD (標準モード)
- 走行モードPro^{OE} 装備
- DYNAMIC
- DYNAMIC PRO

この走行モードすべてに、ABS、ASC/DTC システムならびにスロットルレスポンスについて調整されている設定があります。

- Dynamic ESA^{OE} 装備
Dynamic ESA の調整は、同様に選択した走行モードに応じて異なります。

それぞれの走行モードで、ABS および / または ASC / DTC を OFF にできます。以下の説明は、常に走行安全システムが ON の場合に関するものです。

スロットルレスポンス

- 走行モードRAIN: 控えめ
- 走行モードROAD: ダイレクト
- 走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO: ダイナミック
- 走行モードDYNAMIC PRO では、SETUP から異なるスロットルレスポンスを設定することができます (▶▶ 71)。

ABS

- リアホイールの浮き上がり検知はすべての走行モードで作動しています。
- 走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、ABS はオンロード走行に調整されています。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、ABS Pro を完全に使用することができます。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。

ASC

- フロントホイールの浮き上がり検知はすべての走行モードで作動しています
- ASC はオンロード走行に調整されています。
- 走行モードROAD では、ASC は高い走行安定性を、走行モードRAIN では最大の走行安定性を提供しています。

- 走行モードPro^{OE} 装備

DTC

タイヤ取付け

- DTC 設定RAIN、ROAD およびDYNAMIC では、DTC はオ

ンロードタイヤでのオンロード走行に調整されています。

走行安定性

- DTC 設定RAIN では、最大の走行安定性を達成するように、DTC の介入が早期に行われまず。
- DTC 設定ROAD では、DTC の介入が走行モードRAIN よりも遅く行われます。リアホイールの空転をできるかぎり避けられるようにします。
- DTC 設定RAIN およびROAD では、フロントホイールの持ち上げが回避されます。
- DTC 設定DYNAMIC では、DTC の介入がDTC 設定ROAD より遅く行われ、コーナー出口での簡単なドリフトと短時間のウィリー走行が可能になります。

走行モードRAIN、ROAD およびDYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

走行モードDYNAMIC PRO では、DTC を様々な設定することができます (▶▶ 72)。

切替

走行モードは、イグニッションが ON で車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

Dynamic Brake Control

- 走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能



注意事項

ABS がオンの場合、Dynamic Brake Control 機能は、すべての走行モードで作動します。◀

Dynamic Brake Control の機能はエマージェンシーブレーキング時にライダーをサポートします。

エマージェンシーブレーキングの検知

- フロントブレーキが素早く、強く操作された場合に、エマージェンシーブレーキングが検知されます。

エマージェンシーブレーキングの動作

- 10 km/h 以上の速度でエマージェンシーブレーキングが行われると、ABS 機能のために追加でDynamic Brake Control が作動します。
- ブレーキ圧力勾配の高いパリアルブレーキングの場合、Dynamic Brake Control によりリアホイールのインテグラルブレーキ圧が上昇します。制動距離は短くなり、制御しながらブレーキ動作を行うことができます。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- エマージェンシーブレーキング時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、スロットルを閉じることにより、本来誘引されていたブレーキ作用がDynamic Brake Control によって確保されます。エマージェンシーブレーキングの作用が確保されます。
- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- エマージェンシーブレーキングが終了してもスロットルグリップが未だに操作されている場合、Dynamic Brake Control により、エンジントルクを制御しながら調整し、ライダーの要求に戻します。



注意事項

ABS がオフの場合は、Dynamic Brake Control の機能も同時にオフになります。◀

シフトアシスト

- シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、本来レーシングスポーツにおいて開発され、ツーリング走行に適合されたシフトアシストPro が装備されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の70~80%をクラッチ操作なしで行うことができます。

- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状態)の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアキュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、ギアシフトが終了するまで保持している必要があります。ギアシフト中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギアシフトアシストPro を使用してさらにギヤ

切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。シフトアシストPro を用いてギヤをシフトするためには、ギアシフト前およびギアシフト中にそれぞれの負荷状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。ギアシフト中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うギアシフトでは、シフトアシストPro によるサポートは行われません。

シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 9000 min⁻¹

シフトアップ

- 現在の回転数が次に高いギアのそれぞれのしきい値よりも高い場合にのみ、シフトアップが可能です。
- それにより、アイドル回転数を下回らないようにします。



アイドル回転数

1050 min⁻¹ (エンジン作動温度時)



しきい値

1 速

min 1350 min⁻¹

 しきい値
2 速
min 1400 min ⁻¹
3 速
min 1450 min ⁻¹
4 速
min 1500 min ⁻¹
5 速
min 1550 min ⁻¹
6 速
min 1600 min ⁻¹

ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)

発進アシストの機能

発進アシスタントHill Start Control は、パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムに標的に介入することにより、ライダーがブレーキレバーを持続

的に押さなくても、制御不能の状態で登り坂を後退することを阻止します。Hill Start Control の作動時、リアブレーキシステムに圧力をかけることで、斜面でもモーターサイクルは停止できます。ブレーキシステムのブレーキ圧は傾斜に応じて異なります。

ブレーキ圧のおよび発進動作への傾斜の影響

- 傾斜が小さい場所で停止する場合は、わずかなブレーキ圧のみかかります。発進時のブレーキ解除は素早く行われます。ソフトな発進ができます。これに加えてスロットルグリップを緩める必要はほとんどありません。
- 傾斜が大きい場所で停止する場合は、大きなブレーキ圧がかかります。発進時のブレーキ解除は少し長くなります。発進にはより大きなトルクが必要なため、さらにスロットルグリップを緩める必要があります。

車両が転がるまたは滑る場合の挙動

- Hill Start Control がオンの時に車両が転がると、ブレーキ圧が高くなります。
- リアホイールがスリップする場合、約 1 m 後にブレーキが再び解除されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止または時間超過時のブレーキの解除

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止させた場合、サイドスタンドを立てた場合、または時間超過 (10 分) 後はHill Start Control はオフになります。ライダーは、以下の動作を通して、インジケーター / 警告灯に加えて、Hill Start Control の作動解除に注意を払う必要があります:

ブレーキ警告動作

- ブレーキが短時間解除され、すぐに再び作動します。
- その際、瞬間的な動きが感じられます。
- パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムは速度約 1~2 km/h に制御します。
- ドライバーは車両を手動でブレーキする必要があります。
- 2分後またはブレーキ操作時、Hill Start Control が完全にオフになります。



注意事項

イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。◀

メンテナンス

一般的な情報	148	バッテリー	171
車載ツールセット	148	ヒューズ	175
サービスツールセット	148	診断コネクター	176
フロントホイールスタンド	149		
リヤホイールスタンド	150		
エンジンオイル	151		
ブレーキシステム	153		
クラッチ	157		
クーラント	157		
タイヤ	158		
リムとタイヤ	158		
ホイール	159		
マフラー	165		
バルブ	168		
始動補助	170		

一般的な情報

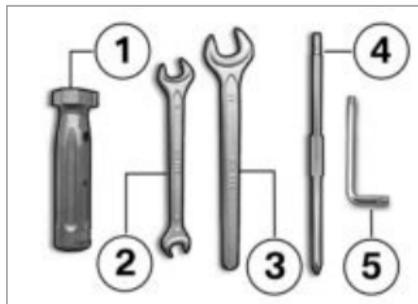
「メンテナンス」の章には、容易に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明されています。

取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「テクニカルデータ」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応するDVD版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorradディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorradディーラーにお問い合わせください。

車載ツールセット

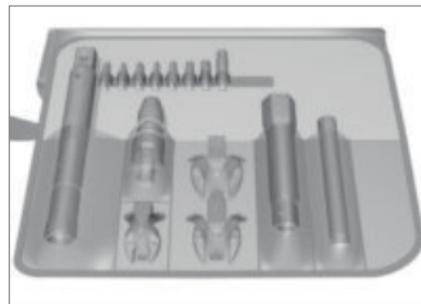


- 1 ドライバーグリップ
- 六角レンチの使用
- エンジンオイルを補充する (▶▶▶ 152)。
- 2 オープンエンドレンチ
口径 8/10
- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 172)。
- 3 オープンエンドレンチ
口径 14
- 4 リバーシブルブレードドライバースクエア
プラス溝 PH1 およびトルクス T25

- 4 - フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (▶▶▶ 168)。
- ウインドシールドを動かす (▶▶▶ 109)。
- 5 トルクスレンチ T40

サービスツールセット

- サービスツールセット^{OA} 装備



基本的な範囲以上のサービス作業（ホイールの脱着など）向けに、BMW Motorrad は各モーターサイクルに合わせたサービスツールセットを用意しました。このツールセットはBMW Motorradディーラーで入手可能です。

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを 取り付けます

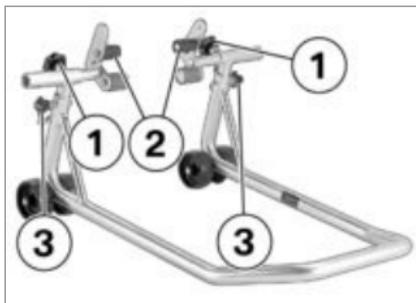
重要事項

追加の補助スタンドを使用しないBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

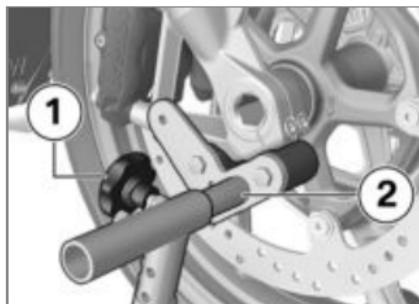
転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、補助スタンドで立ててください。◀
- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀
- ベーススタンドを、フロントホイールサポートと共に使用します。ベーススタンドおよびそ

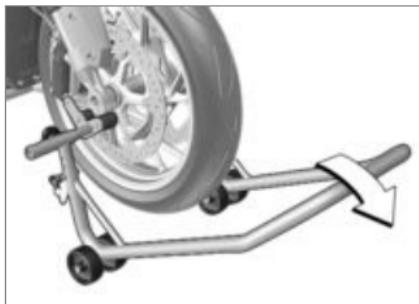
の備品はBMW Motorrad ディーラーから入手できます。



- 固定ボルト **1** を外します。
- 両方のサポート部 **2** を外側へ押し、フロントホイールガイドが間に収まるようにします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用して希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせて、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方のサポート部 **2** を、フロントホイールガイドが確実に取り付けられるように調整します。
- 固定ボルト **1** を締め付けます。



- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

ーセンタースタンドOE 装備

重要事項

車両を持ち上げすぎた際のセンタースタンドの浮き

転倒によるコンポーネントの損傷

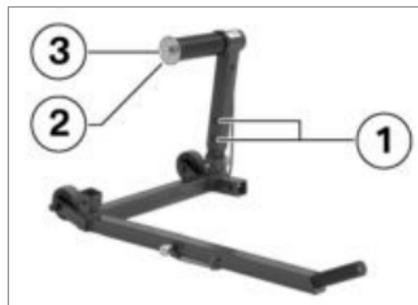
- リフトアップの際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。

- 必要に応じて、フロントホイールスタンドの高さを合わせます。◀
- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ベーススタンドをリアアクスルアダプターと共に使用します。ベーススタンドとその備品は、BMW Motorrad ディーラーで入手できます。



- リヤホイールスタンドを、ボルト **1** を使用して希望の高さに調整します。
- ロック解除用ボタン **3** を押して、ロックワッシャー **2** を外します。



- リヤホイールスタンドを右側からリヤアクスルに押し込みます。
- ロック解除ボタンを押して、ロックワッシャーを左側から取り付けます。



- モーターサイクルをまっすぐに立てると共に、スタンドのグリップを後ろへ押して、スタンドの両方のローラーが地面に着くようにします。
- 続いてグリップを地面まで押します。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する



注意事項

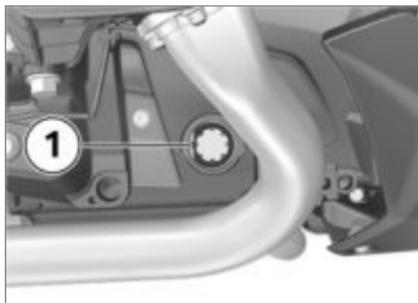
エンジンオイルは温度感応型であるため、オイル充填量のエラー解釈の可能性があります。◀

- ファンが動き出すまで、エンジンをアイドリング状態にします。
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。

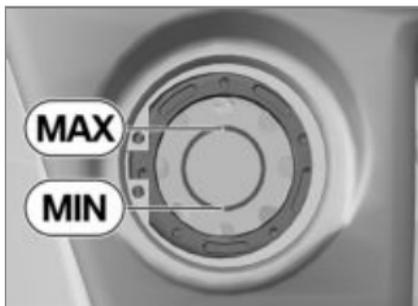


注意事項

環境保護のためにBMW Motorradは50 km以上走行した場合には時折エンジンオイルを点検するように推奨しています。◀



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



 エンジンオイル規定レベル

MIN とMAX マークの間

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

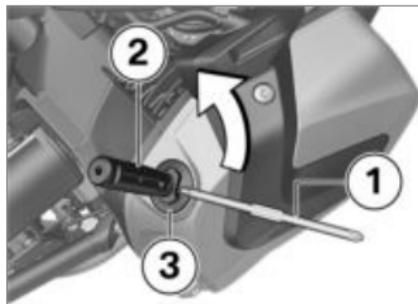
- エンジンオイルを補充する(➡ 152)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。

- 動力伝達を容易にするため、リバーシブルブレードのドライバーインサート **1** を、トルクス側を前にして、ドライバーのグリップ **2** (ツールキット) に差し込みます。
- 前述のツールキットをオイル注入口のキャップ **3** の上にセットし、反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 151)。

重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。

 エンジンオイル補充量

max 0.8 l (MIN とMAX 間の差)

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 151)。
- オイル注入口のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

抵抗がはっきりと感じられない場合：

重要事項

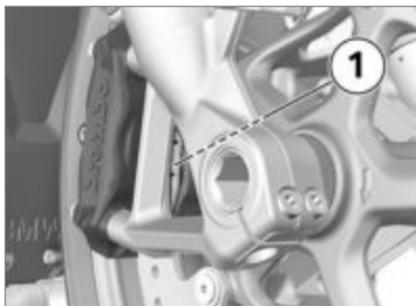
ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントホイールガイド

の間を通して、ブレーキパッド **1** へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ(キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター(溝)がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合：

**警告****パッドの使用限度厚を下回る**

制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リアブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド **1** の内側。



リアブレーキパッドの摩
耗限度

1.0 mm (ライニングのみ(キャリアプレートなし))

摩耗限度に達している場合：

**警告****パッドの使用限度厚を下回る**

制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀

- ハンドルバーを、ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように調整します。

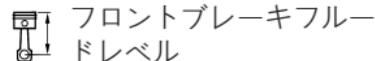


- フロントブレーキフルードタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する

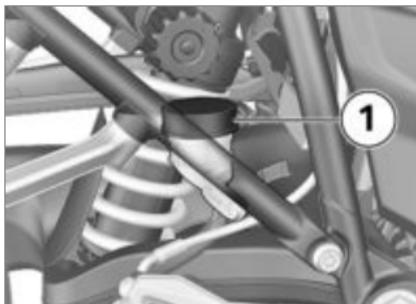


警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに停止し、まず故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀



- リアブレーキフルードタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

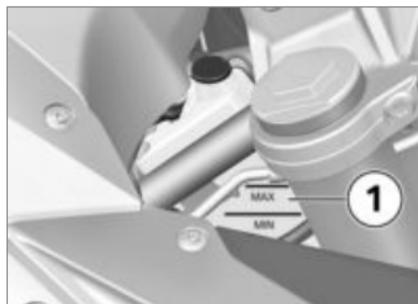
- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- 抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。



エンジンの過熱

火傷の危険

- 熱くなっているエンジンからは離れてください。
 - 熱くなっているエンジンには触れないでください。◀
 - リザーバー **1** のクーラントレベルを読み取ります。
 - » クーラントレベルはMIN マークとMAX マーク間にあります。
- クーラントレベルがMIN マークを下回っている場合：
- クーラントを補充します。

クーラント

クーラントレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◁

クーラントを補充します



- クーラントリザーバータンクのキャップ **1** を開き、クーラントを規定レベルまで補充します。
- » クーラントレベルはMIN マークとMAX マークの間にあります。
- キャップ **1** を閉じます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ充填圧(フロント)

2.5 bar (1名乗車時、タイヤ冷間時)

2.5 bar (タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時)

2.5 bar (スポーツ使用時)



タイヤ充填圧(リヤ)

2.9 bar (1名乗車時、タイヤ冷間時)

2.9 bar (タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時)

2.9 bar (スポーツ使用時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。



注意事項

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイール

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

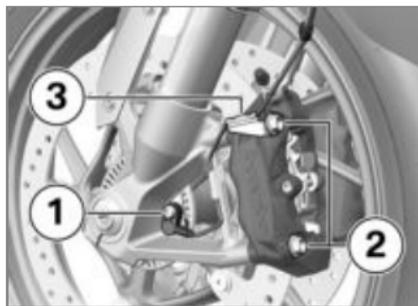
ホイールサイズは、フレーム制御システムABS およびASC/DTC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorradディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホ

イールサイズに適應させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀



- ボルト **1** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。

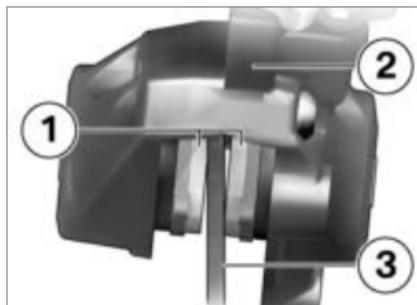
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

重要事項

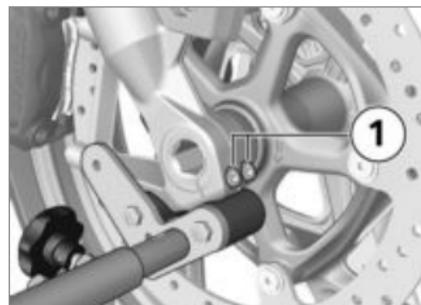
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

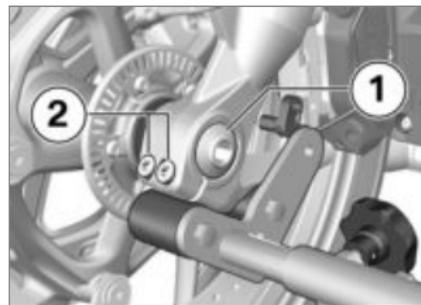
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **2** を取り外し、固定クランプ **3** を取り外します。



- ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキパッド **1** をブレーキディスク **3** から少し離れるように押します。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(▶▶ 149)。

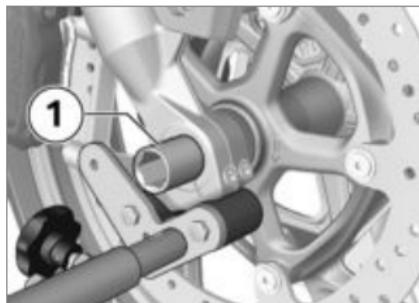


- アクスルクランプボルト **1** を外します。

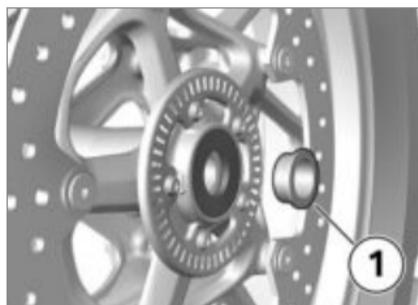


- ボルト **1** を取り外します。
- アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側

から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害

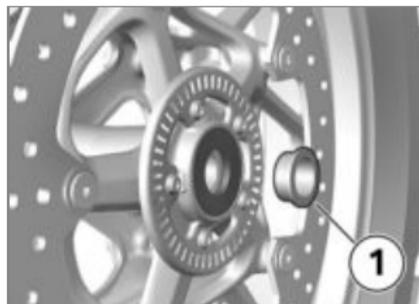
- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC/DTC に与え

る影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付けるボルト締め付け部の損傷または緩み

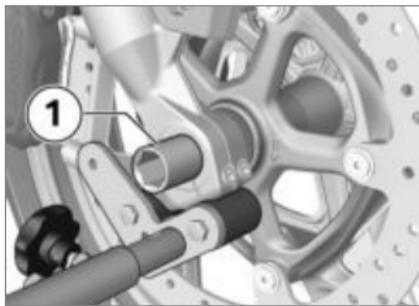
- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。

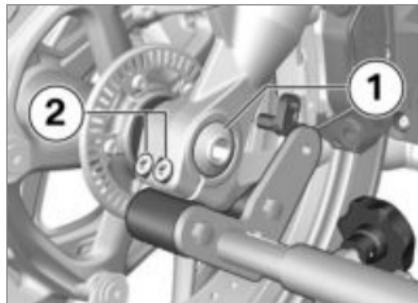
**重要事項****フロントホイールの取り付けが
回転方向と逆****事故の危険**

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。

- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(▶▶ 149)。



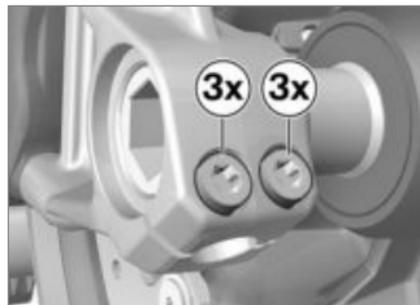
- ボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。



テレスコピックフォーク
内アクスルシャフト

50 Nm

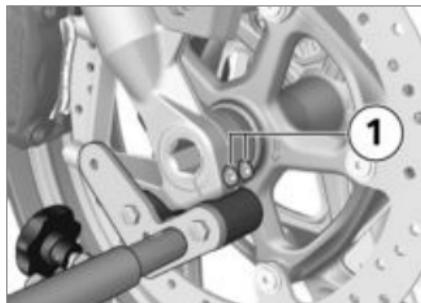
- アクスルランプボルト **2** を締め付けトルクで締め付けます。



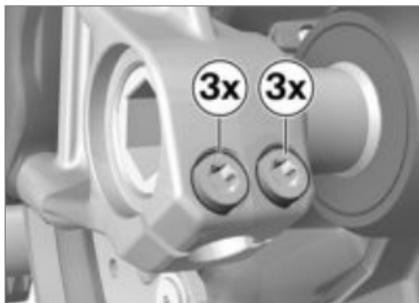
テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固
定ボルト

締め付け順序: ボルトを 6 回、
交互に締め付ける

19 Nm



- アクスルランプボルト **1** を締め付けトルクで締め付けます。

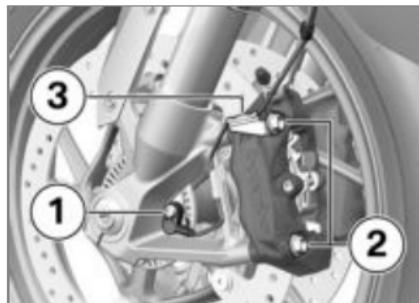


 テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト

締め付け順序: ボルトを6回、交互に締め付ける

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左側の固定クランプ **3** と左右の固定ボルト **2** を締め付けトルクで取り付けます。

 ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。



警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルを固定クランプ **3** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **1** を取り付けます。



ホイール回転数センサーとフォーク

接合剤: マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤(中強度) 使用



ホイール回転数センサーとフォーク

8 Nm

リヤホイールを取り外す

- マフラーを取り外す(▶ 165)。



- ギヤを 1 速に入れます。
- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC/DTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀



重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に乗せます。



- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。

 リヤホイールとホイールフランジ

締め付け順序: 対角の順に締め付ける

60 Nm

- マフラーを取り付ける(▶▶▶ 166)。

マフラー マフラーを取り外す

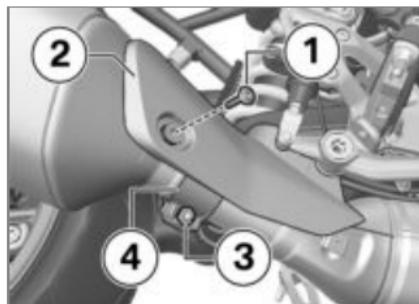
 **注意**

高温のエキゾーストシステム

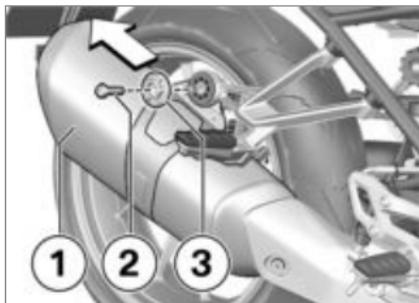
火傷の危険

- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。◀
- エンドマフラーを冷却します。
- モーターサイクルを適切なメイン(センター)スタンドで立てます。その際、路面が平坦で固くしっかりとしているか確認してください。BMW Motorrad はBMW Motorrad リヤホイールスタンドをお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 150)。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

ン(センター)スタンドで立てます。◀



- ボルト **1** をカバー **2** から取り外します。
- ボルト **3** をクランプ **4** から取り外します。



- ボルト **2** およびワッシャー **3** を取り外します。
- マフラー **1** を取り外します。

– HP スポーツマフラーOE 装備

⚠ 注意

高温のエキゾーストシステム

火傷の危険

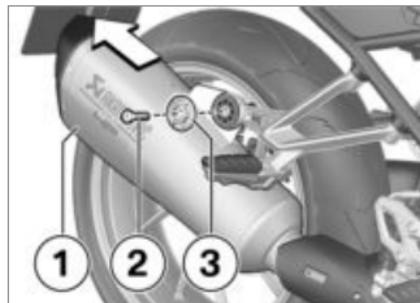
- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。◀
- エンドマフラーを冷却します。
- モーターサイクルを適切なメイン(センター) スタンドで立てます。その際、路面が平坦で

固くしっかりとしているか確認してください。BMW Motorrad はBMW Motorrad リヤホイールスタンドをお勧めします。

- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 150)。
- センタースタンドOE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀

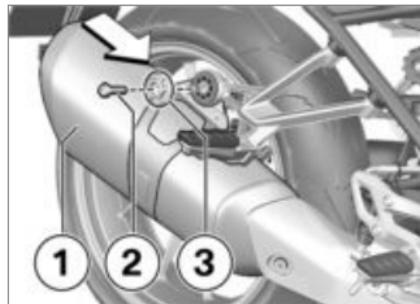


- ナット **1** を外し、クランプ **2** を後方へ移動させます。



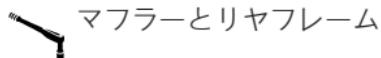
- ボルト **2** およびワッシャー **3** を取り外します。
- マフラー **1** を取り外します。◀

マフラーを取り付ける



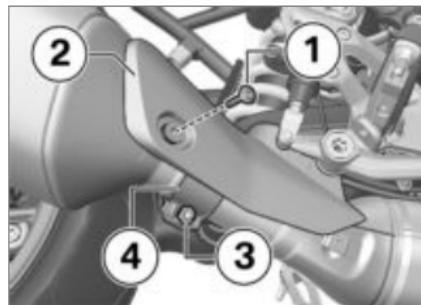
- クランプをマフラーの上にずらします。

- マフラー **1** をストップ位置までずらしませう。
- ボルト **2** およびワッシャー **3** を取り付けませう。

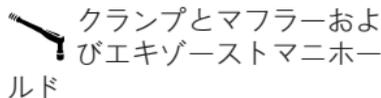


マフラーとリヤフレーム

19 Nm



- クランプ **4** のナット **3** を締め付けませう。



クランプとマフラーおよびエキゾーストマニホルド

22 Nm

- カバー **2** のボルト **1** を取り付けませう。

– HP スポーツマフラーOE 装備

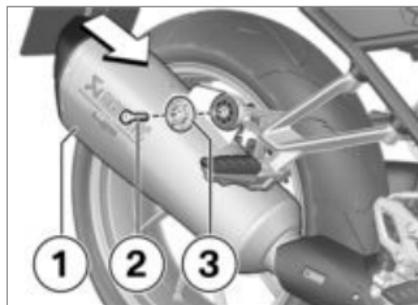


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

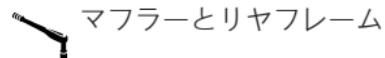
ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



- クランプをマフラーの上にならずにませう。

- マフラー **1** をストップ位置までずらしませう。
- ボルト **2** およびワッシャー **3** を取り付けませう。

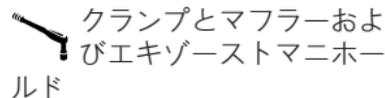


マフラーとリヤフレーム

19 Nm



- クランプ **2** のナット **1** を締め付けませう。



クランプとマフラーおよびエキゾーストマニホルド

22 Nm◀

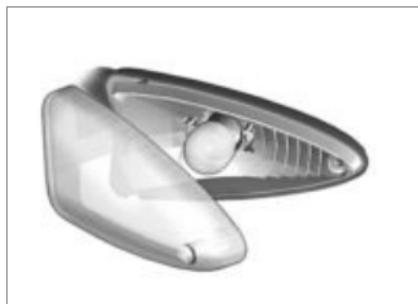
バルブ

フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する

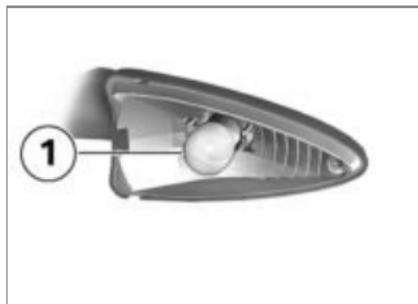
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト **1** を取り外します。



- レンズのボルト固定側をライトハウジングから引いて外します。



- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いている

るきれいなウエスを使用して取り扱います。

- バルブ **1** を反時計回りに回してライトハウジングから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



フロントウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー^{OE} 装備

LED<

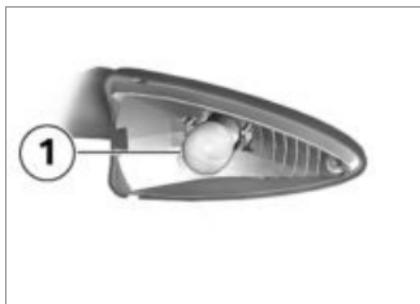


リヤウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー^{OE} 装備

LED<



- バルブ **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。

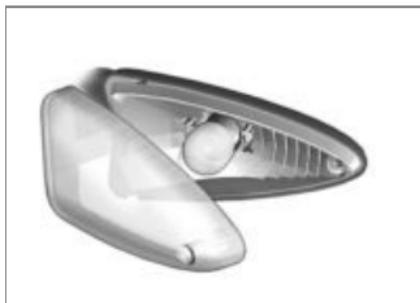
LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウィンカーを交換する

– LED ウィンカー^{OE} 装備



- レンズ(車両側) をライトハウジングにセットし、閉じます。

LED ウィンカーはアセンブリーでのみ交換可能です。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ヘッドライトの交換

- LED ヘッドライトはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED 補助ヘッドライトを交換する

– LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

LED 補助ヘッドライトは、アセンブリーでのみ交換可能です。LED を個別に交換することはできません。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

始動補助

重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流、車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀

重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触
ショートのおそれ

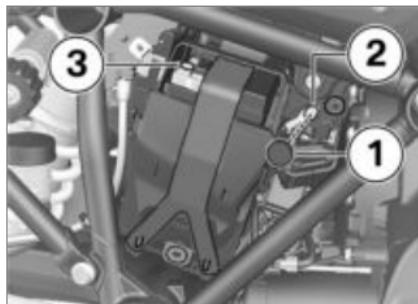
- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 Vであることを確認してください。◀
- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(▶ 172)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きます。
- ジャンパーコード(赤)を用いて、放電したバッテリーのバッ

テリープラスターミナル **2** を供給側バッテリーのプラス極に接続します。

- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その

後プラスターミナルから外し
ます。



注意事項

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類
の補助剤は使用しないでくだ
さい。◀

- 保護キャップを取り付けま
す。
- バッテリーカバーを取り付け
る(▶▶ 174)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、
保管は、バッテリーの寿命を延
ばし、また、保証のための前提
条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすため
に、以下のことに注意してくだ
さい：

- バッテリーの表面を、清潔で乾
いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しな
い。
- バッテリーの充電を行う場合
は、必ず、次ページ以降の注意
事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしな
い。



重要事項

車両エレクトロニクス(時計な
ど)により、接続されているバッ
テリーが放電する

過放電、それによる保証要件か
らの除外

- 4週間以上、走行しない場合：
トリクルチャージャーをバッテ
リーに接続してください。◀



注意事項

BMW Motorrad では、ご使用の
モーターサイクルの電子機器専用

にトリクルチャージャーを開発
しました。このチャージャーを
使用すれば、車両を長期間使用し
ない場合でも、バッテリーを接続
した状態で充電しておくことが
できます。詳しい情報につつま
しては、BMW Motorrad ディー
ラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充 電する



重要事項

車両に接続されているバッテリー
をバッテリーターミナルで充電
車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテ
リーターミナルから接続を外し
てください。◀



重要事項

電源ソケットまたは補助コネク
ターから完全に放電したバッテ
リーを充電する

車両エレクトロニクスの損傷

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 12V 未満、イグニッションオン時に表示灯およびマルチファンクションディスプレイがオフのまま）を必ず**分離した**バッテリーのターミナルで充電します。◀

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャーチャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorrad ディーラーで入手することができます。◀
- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

注意事項

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。

この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

注意事項

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

注意事項

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す

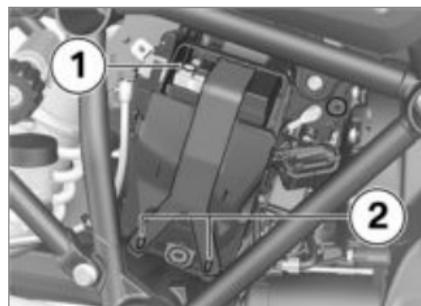


- イグニッションを OFF にします。
- ボルト**1**を取り外す。

- バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
- バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。

– 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。
- バッテリーを少し持ち上げて、プラスターミナルに手が届くようになるまで、ホルダーから外します。



- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

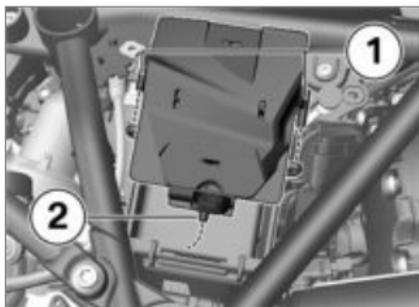
バッテリーを取り付ける



12V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレーターの高圧が溶断する可能性があります。◀

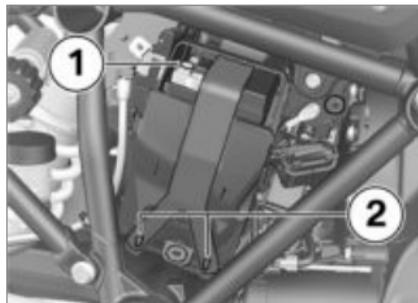


- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。

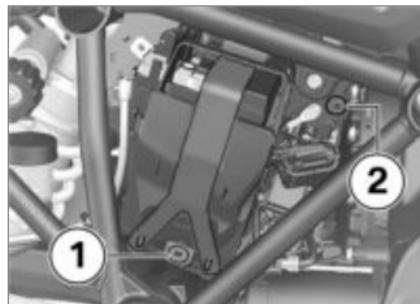


- 最初にホルダープレートホルダー **1** に組み込み、次にポジ

ション **2** をバッテリー下に押し込みます。



- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



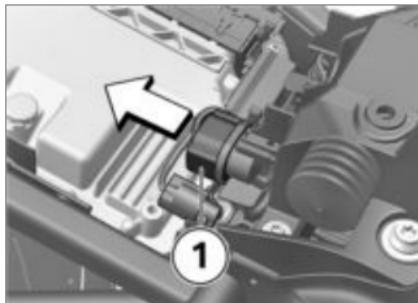
- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。



- ボルト **1** を取り付けます。
- 時計を調整する(▶▶▶ 95)。
- 日付を調整する(▶▶▶ 95)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶ 83)。
- コネクター **1** を抜き取りません。



重要事項

故障しているヒューズのバイパスショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。

- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

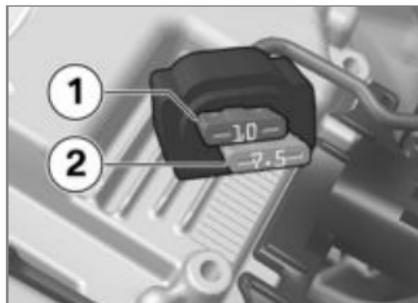


注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

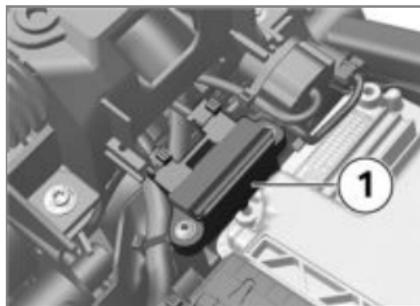
- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 84)。

ヒューズ割当て



- 1** 10 A
メーターパネル
盗難警報装置 (DWA)
イグニッションロック
診断ソケット
- 2** 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール (RDC)

オルタネーターレギュレーター用ヒューズ



- 1** 50 A
オルタネーターレギュレーター

診断コネクター

診断コネクターを外す



注意

オンボード診断用の診断コネクターを外す方法に誤り

車両の機能障害

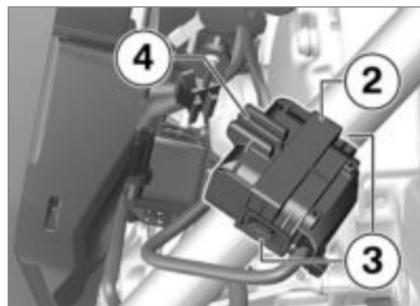
- 診断コネクターを外す場合は、必ずBMW Service の間に依頼

するか、専門の整備工場またはその他の認定を受けた人物に依頼してください。

- 適切な教育を受けた人物に作業を依頼してください。
- 車両メーカーの規定を守ってください。◀
- バッテリーカバーを取り外す(▶ 172)。



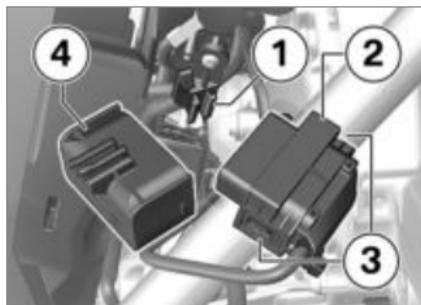
- フック **1** を押し、診断コネクター **2** を上方へ引き出します。



- ロック **3** の両側を押します。
- 診断コネクター **2** を止め具 **4** から外します。
- » 診断および情報システム用インターフェースを診断コネクター **2** に差し込むことができます。

診断コネクターの固定

- 診断および情報システム用インターフェースを外します。



- 診断コネクタ **2** を止め具 **4** に差し込みます。
- » 両側でロック **3** がかみ合います。
- 止め具 **4** をホルダー **1** に差し込みます。



- フック **5** がロックしたか確認してください。
- バッテリーカバーを取り付ける(▶▶▶ 174)。

アクセサリ

一般的な情報	180
電源ソケット	180
ケース	181
トップケース	183
ナビゲーションシステム	186

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト/点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリ製品はBMW によって安全性、機能、適正が検査されています。その

ためBMW は製品に対する責任を負います。認められていないあらゆる部品やアクセサリ製品においては、BMW は責任を負いません。

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、BMW 純正部品、アクセサリ、その他製品をお選びの際に、適切なアドバイスをいたします。アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/equipment

電源ソケット

電装系機器の接続

- 電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の

状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

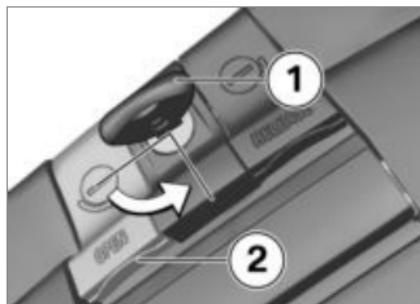
- 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてから 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグ

ニッション OFF 後にしばらく経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

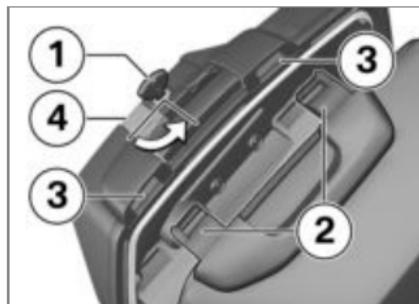
- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。



- キー **1** をポジション OPEN に回します。
- ロック解除レバー **2** (OPEN) (灰) を上方へ引きながら、同時にケースカバーを開けます。

ケースを閉じる

- ツーリングケース^{OA} 装備



- キー **1** をポジション OPEN に回します。
- ケースカバーのキャッチ **2** をロック **3** の中に押し込みます。何も挟まっていないことを確認します。
- ロック解除レバー **4** (OPEN) (灰) を上方へ引きながら、同時にケースカバーを閉めます。
 - » カバーがはまる音が聞こえます。
- ケースロックのキー **1** を進行方向へ回して抜き取ります。

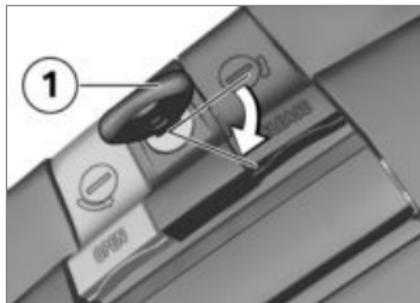
ケース

ケースを開きます

- ツーリングケース^{OA} 装備

ケースを取り外します

— ツーリングケース^{OA} 装備



- キー **1** をポジションRELEASEに回します。



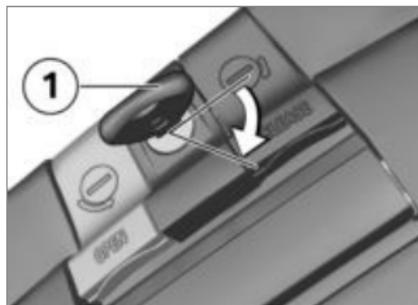
- ロック解除レバー **1** (RELEASE) (黒) を引

き上げながら、ケースを外側へ引きます。

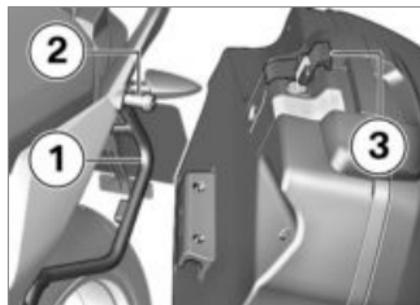
- 続いてケースを下側のマウントから持ち上げて外します。

ケースを取り付けます

— ツーリングケース^{OA} 装備



- キー **1** をポジションRELEASEに回します。



- ケースをケースホルダー **1** に組み込み、ストップ位置までマウントサポート **2** の方へ動かします。
- ロック解除レバー **3** (RELEASE) (黒) を引き上げながら、ケースを上側サポート **2** に押し込みます。
- ロック解除レバー **3** RELEASE (黒) を押し下げ、しっかりとかみ合わせます。
- ケースロックのキーを進行方向へ回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



ケースを装着して走行する場合の最高速度

max 180 km/h



ケースごとの積載荷重

max 10 kg

確実な固定

– ツーリングケース^{OA} 装備



ケースがぐらついたり、取り付けにくい場合には、上下のマウントサポート間の間隔を調整する必要があります。



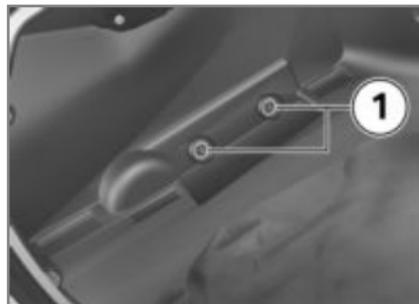
警告

不適切に取り付けられているケース。

走行安全性が損なわれる。

- ケースはぐらぐらしないよう、遊びのない状態で固定しなければなりません。長期間使用して遊びが生じた場合には、ホル

ダーフックを改めて調整してください。◀



それには、ケース内部にあるボルト **1** を使用してください。

トップケース

トップケースを開きません

– トップケース^{OA} 装備



- トップケースロックのキーをポジション**1**に回します。



- ロックシリンダー**1**を前に押します。
- » ロック解除レバー**2**が飛び出します。

トップケースを閉じる

– トップケース^{OA} 装備



- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケースリッドを押したまま保持します。中身が挟まっているか確認します。



注意事項

ロックがポジションLOCKにある場合、トップケースが閉じることもあります。その場合には、キーがトップケース内がないことを確認する必要があります。◀



- ロック解除レバー **1** を、しっかりとはまるまで押し下げます。
- トップケースロックのキーを、ポジションLOCKに回して引き抜きます。

トップケースを取り外す

– トップケース^{OA} 装備



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。
» キャリングハンドルが飛び出します。



- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。

- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジロックから引いて外します。

トップケースを取り付ける

— トップケース^{OA} 装備



不適切に取り付けられているトップケース

走行安全性の低下

- トップケースにがたつきがあってはならず、遊びなしでしっかりと固定されていなければなりません。◀
- キャリングハンドルを完全に引き上げます。



- トップケースをラゲッジロックに固定します。フック **1** が、対応するサポート **2** に確実にかみ合っているか確認します。



- キャリングハンドル **1** を、はまる音がするまで押し下げます。



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回し、引き抜きます。

最大積載荷重および最高速度

トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にトップケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



Vario トップケース積載
で走行時の最高車速

max 180 km/h



トップケースの積載荷重

max 5 kg

ナビゲーションシステム

ナビゲーションシステムを確実に取り付ける

- NAV 取付けキット^{OE} 装備
- ナビゲーションシステム^{OA} 装備



注意事項

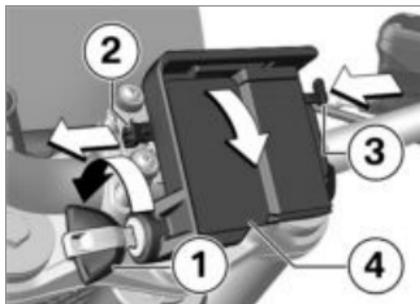
BMW Motorrad Navigator IV 以降で、ナビゲーション準備部品に適合しています。◀



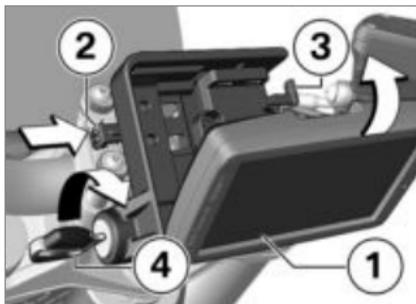
注意事項

Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック **2** を左へ引きます。
- ロック **3** を押し込みます。
- » Mount Cradle がロック解除され、カバー **4** を回転動作で前方へ取り外すことができますようになります。



- ナビゲーションシステム **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーションシステムがはまる音が聞こえます。
- シャットオフ ロック **2** を完全に右へスライドさせます。
- » ロック **3** が掛かります。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
- » ナビゲーションシステムがロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

ナビゲーションシステムを取り外し、カバーを取り付ける

- NAV 取付けキット^{OE} 装備
- ナビゲーションシステム^{OA} 装備

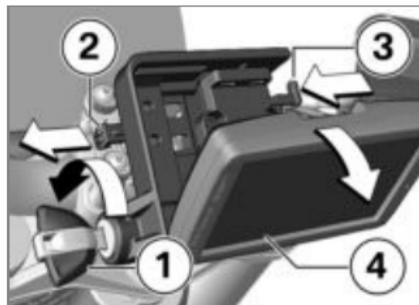


重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

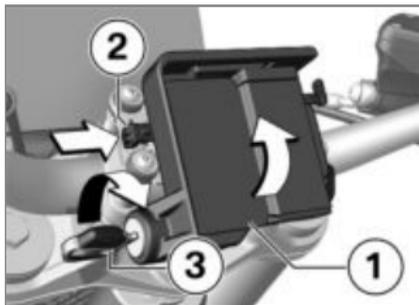
接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。

- シャットオフ ロック **2** を完全に左へ引きます。
- » ロック **3** が解除されます。
- ロック **3** を完全に左へスライドさせます。
- » ナビゲーションシステム **4** がロック解除されます。
- ナビゲーションシステム **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下部領域に組み付け、回転させて上方へ回します。
- » カバーが音をたててはまりません。

- シャットオフ ロック **2** を右へスライドさせます。
- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- » カバー **1** が固定されます。

ナビゲーションシステムを操作する

– NAV 取付けキット^{OE} 装備



注意事項

以下の説明はBMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VI に関するものです。BMW Motorrad Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀

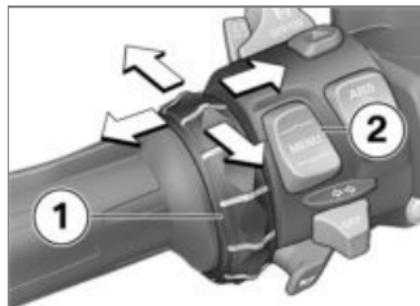


注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュ

ニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられ、操作フォーカスがNavigator に切替わると(▶ 91)、いくつかの機能はハンドルバーから直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、Multi-Controller **1** およびメンタリボタンMENU **2** を介して行われます。

Multi-Controller 1 を上下に回します

コンパスおよびMediaplayer ページでは: Bluetooth を介して接続されたBMW Motorrad 通信システムの音量を上げたり、下げたりします。

BMW 特別メニューでは: メニューオプションを選択します。

Multi-Controller 1 を左右に短く倒します

Navigator のメインページ間で切替えます:

- 地図表示部
- コンパス
- Mediaplayer
- BMW スペシャルメニュー
- ご使用のモーターサイクルのページ

Multi-Controller 1 を左右に長く倒します

特定の機能をNavigator ディスプレイで作動させます。この機能

は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。



この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。



この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

モメンタリボタンMENU 2 の下部を押す

操作フォーカスをPure Ride ビューに切替えます。

それぞれ以下の機能が操作できます:

地図表示部

- 上方向へ回す: マップ抜粋図を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す: マップ抜粋図を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ

- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント: 現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム: 自宅住所へのナビゲーションを開始します (自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。
- ミュート: 自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。

- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します(通信システムと電話が接続されている時のみ表示)。
- 迂回：迂回機能を ON にします(アクティブになっているルートがあるときにのみ作動)。
- ジャンプ：次のウェイポイントをジャンプします(そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動)。

ご使用のモーターサイクル

- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く押すことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

Mediaplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。



注意事項

Mediaplayer の機能は、A2DP 標準に従ったBluetooth デバイス(例：BMW Motorrad 通信システム)を使用した場合のみ、利用できます。◀

警告メッセージおよび指示メッセージ

- ナビゲーションシステム OA 装備



モーターサイクルの警告および指示表示は、対応するマーク 1 と共に、地図表示部の左上に表示されます。



注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージが

ある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。



注意事項

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

ナビゲーションシステム^{OA} 装備

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator の Operating instructions において、記載の一部で相違が生じます。

燃料残量警告

フューエルレベル表示用の設定は使用できません。燃料残量警告は車両から Navigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、

メッセージの上をクリックすることにより、次のガソリンスタンドが表示されます。

時刻表示と日付

時刻表示と日付が Navigator からモーターサイクルに転送されます。TFT ディスプレイに時間を引き継ぐには、追加でメニュー Settings、System settings、Date and time で GPS synchronisation 機能を作動させる必要があります。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられているイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「Ja」

で確定すると、Navigator が車両識別番号を登録します。

車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

引き続きイグニッション ON でこれらの車両のひとつで Navigator が ON になると、PIN の入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、セキュリティ上の理由から PIN の照会が開始されます。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。手動入力が必要ありません。

自動設定を希望しない場合は、Navigator のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

お手入れ

ケア用品.....	194
洗車	194
損傷しやすい車両部品のお手入れ.....	195
塗装のお手入れ.....	196
保護コーティング	196
長期保管.....	196
再使用	197

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド
ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレー

キがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

重要事項

温水による塩の作用の増大

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部

カバー部分の水とBMW Motorrad クリーナーで清掃します。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

注意事項

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀



水とスポンジのみを使用した洗浄。



化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クローム部品を十分な水とケアシリーズBMW Motorrad Care Products のモーターサイクルクリーナーで清掃します。これは散布用塩の影響が特に見られる場合。

さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げるラジエタープレートの損傷

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。◀

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用
ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフェーエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見え

やすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タールのシミをBMW タールクリーナーで取り除くことをお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

長期保管

- 洗車します。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(▶▶ 172)。
- ブレーキレバーおよびクラッチレバー、センタースタンドベアリングとサイドサポートベアリングに対応の潤滑油を吹き付けます。
- 金属部品やクロームめっき部品に、中性のグリース(ワセリン)を塗布し、保管します。
- モーターサイクルは、両ホイールに負荷がかかっていない状態にして、乾燥した空間に保管します(BMW Motorrad 推奨フロントホイール、リヤホイールスタンドを使用することをお勧めします)。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きません。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 173)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 120)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	200
ネジ止め部	204
燃料	207
エンジンオイル	208
エンジン	208
クラッチ	209
ギヤボックス	210
リヤホイールドライブ	211
フレーム	211
シャシー	212
ブレーキ	212
ホイールとタイヤ	213
電装システム	215
盗難警報装置	216
寸法	216

重量	217
性能	217

Bluetooth 接続が確立されません。

原因

修理

ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。

コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。

ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。

ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。

ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください(コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。

Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。

複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因

修理

BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。

接続されている携帯端末機器で、走行開始前にBMW Motorrad Connected App を呼び出してください。

目的地ガイドをスタートさせることができません。

携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク		
M10 x 65	38 Nm	
テレスコピックフォーク内アクスルシャフト		
M20 x 1.5	50 Nm	
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト		
M8 x 50	締付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける	
	19 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	締付け順序: 対角の順に締め付ける	
	60 Nm	

シフトレバー	数値	有効
ステップパーツとシフトレバー		
M6 x 20 マイクロカプセル加工済	10 Nm	
ブレーキペダル	数値	有効
ステップパーツとブレーキペダル		
M6 x 20 マイクロカプセル加工済	10 Nm	
フットレスト	数値	有効
クランプ台とフットレストジョイント		
M8 x 25	20 Nm	
フットレストとクランプ台		
M6 x 20 / M6 x 12	10 Nm	

ハンドルバー	数値	有効
ハンドルバーブリッジとフォークブリッジ		
M8 x 35	19 Nm	
M8 x 30	19 Nm	- NAV 取付け キット ^{OE} 装 備

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 15 % エタノール、E0/E5/E10/E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。) (最大 15 % エタノール、E0/E5/E10/E15) 91 ROZ/RON 87 AKI
タンク容量	約 18 l
燃料残量	約 4 l
燃費	4.75 l/100 km、WMTC による

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、添加剤 (例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。
エンジンオイル補充量	max 0.8 l、MIN とMAX 間の差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	A74B12M
エンジン型式	空冷式 / 液冷式 2 気筒 4 ストロークボクサーエンジン：平歯車駆動ダブルオーバーヘッドカムシャフト、バランスシャフト、可変インテークカムシャフトコントロールBMW ShiftCam 付き
排気量	1254 cm ³
シリンダーボア	102.5 mm

ピストンストローク	76 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	100 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
最大トルク	143 Nm、エンジン回転数: 6250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1050 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時
排ガス基準	ユーロ 4

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギヤ 6 速トランスミッション
ギヤ比	1.650 (33 : 20)、一次減速比
	2.438 (39 : 16)、1 速
	1.714 (36 : 21)、2 速
	1.296 (35 : 27)、3 速
	1.059 (36 : 34)、4 速
	0.943 (33 : 35)、5 速
	0.848 (28 : 33)、6 速
	1.061 (35 : 33)、ギアアウトプット側レシオ

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.818 (31/11 丁)
ファイナルドライブオイル	SAE 70W-80 / Hypoid Axle G3

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレートの位置	ステアリングヘッドの左フロントフレーム
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

シャシー

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立テレスコピックフォーク
スプリングトラベル(フロント)	140 mm、フロントホイールのところで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	ESA-2 スプリングレート調整付き
スプリングトラベル(リヤホイール)	140 mm

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	4ピストンラジアルブレーキキャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント式
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金

リヤホイール	
リヤブレーキ型式	2ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	焼結合金

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
タイヤ速度カテゴリー(フロント / リヤ)	W、最低限度: 270 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
フロントホイールリムサイズ	3.5" x 17"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 - ZR 17
タイヤ荷重指数(フロント)	min 58
許容軸荷重(フロント)	max 180 kg
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
リヤホイールリムサイズ	5.5" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	180/55 - ZR 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 73
許容軸荷重(リヤ)	max 325 kg
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧(フロント)	2.5 bar、1名乗車時、タイヤ冷間時
	2.5 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時
	2.5 bar、スポーツ使用時
タイヤ充填圧(リヤ)	2.9 bar、1名乗車時、タイヤ冷間時
	2.9 bar、タンデム走行、積載あり、タイヤ冷間時
	2.9 bar、スポーツ使用時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット (合計)
ヒューズホルダー 1	10 A、取り付け位置 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、メインリレー、診断コネクタ 7.5 A、取り付け位置 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ圧コントロール (RDC)、ヨーレートセンサー
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: 電圧レギュレーター
バッテリー	
バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8AI-10
バルブ	
ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED

フロントウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED
リヤウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2202 mm、ライセンスプレートベースを含む
全高	1255...1340 mm、設定値を測定：ウインドシールドを含めて (DIN 空車時)
全幅	925 mm、ミラー含む 999 mm、ケースを含む
フロントシート高さ	820 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)
- ライダーシート (ロー) ^{OE} 装備	760 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)
- シートSport ^{OE} 装備	840 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)

ライダーステップアーチレングス	1840 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ライダーシート (ロー) ^{OE} 装備	1720 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- シートSport ^{OE} 装備	1875 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

空車重量	243 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
許容総重量	460 kg
最大積載荷重	217 kg

性能

最高速度	>200 km/h
------	-----------

サービス

リサイクルリング	220
BMW Motorrad サービス	221
BMW Motorrad サービス履歴	222
BMW Motorrad モバイルサービス ス.....	222
メンテナンス作業	222
BMW サービス	222
メンテナンススケジュール.....	225
メンテナンスの確認	226
サービスの確認	240

リサイクリング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

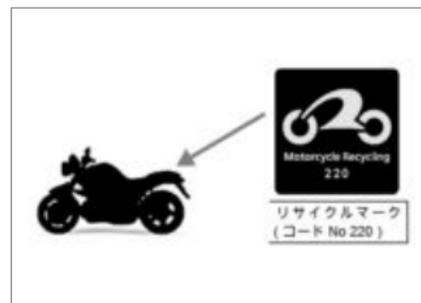
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および

指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット: www.jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100カ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄りのBMW Motorrad ディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます：

bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが絶対的な必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両のサービス履歴が更新されると、サービスに関するデータがミュンヘンにある BMW AG 本部 IT システムに保存されます。サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI)は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

	初回点検の実施
500...1200 km	

BMW サービス

BMW サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1 年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

TFT ディスプレイのサービスインジケーターにより、登録日の約 1 カ月前または登録距離の 1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

メンテナンススケジュール

c 初回は 1 年後、その後は
2 年ごと

- 1 BMW 慣らし運転(オイル交換を含む)
- 2 BMW サービス標準範囲
- 3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- 4 ベベルギヤのオイル交換
- 5 バルブクリアランスを点検する
- 6 すべてのスパークプラグを交換する
- 7 エアフィルターエレメントを交換する
- 8 テレスコピックフォークのオイル交換
- 9 システム全体のブレーキフルードを交換する
 - a 1 年に 1 回または 10000 km ごと(どちらか先に該当したもの)
 - b 2 年に 1 回または 20000 km ごと(どちらか先に該当したもの)

メンテナンスの確認

BMW Service 標準範囲

以下は、BMW Service 標準範囲の活動が記載されています。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実行する
- クラッチシステムの目視点検
- ブレーキライン、ブレーキホースおよび接続の目視点検
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- フロントブレーキフルードレベルの点検
- ブレーキパッドとリアブレーキディスクの摩耗点検
- リヤブレーキフルードレベルの点検
- クーラントレベルを点検します
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- センタースタンドがスムーズに動くか点検する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さの点検
- スポークのテンションを点検し、必要に応じて増し締めする
- 照明および信号装置の点検
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および交通安全性の点検
- BMW Motorrad 診断システムを用いて、サービスの日付および残り距離を登録する
- バッテリーの充電状態の点検
- 車両取扱説明書のBMW サービスを確定する

BMW 納車前点検

実施済み

日付_____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付_____

距離 km_____

次回サービス

最長期間

日付_____

または最短

距離 km_____

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

リヤベベルギヤ内のオイル交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意

押印、署名

サービスの確認

この表は、メンテナンス作業、修理作業、取り付けられた特別付属品、および実施された特別活動の確認のために利用できます。

実施済みの作業	距離 km	日付

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証.....	244
キーレスエントリー用認証	246
TFT メーターパネル用認証	248

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

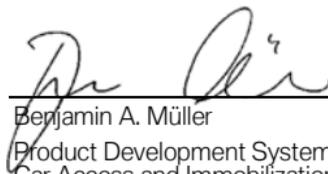
BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1.9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range: 2402 – 2480 MHz

BT version: 4.2 (no BTLE)

BT output power: < 4 dBm

WLAN operating frq. Range: 2412 – 2462 MHz

WLAN standards: IEEE 802.11 b/g/n

WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:

Robert Bosch Car Multimedia GmbH

Adress: Robert Bosch Str. 200,

31139 Hildesheim, GERMANY

Turkey

Robert Bosch Car Multimedia GmbH, ICC6.5in

tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU

nolu yönetmeliğe uygun olduğunu beyan eder.

AB Uygunluk Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki

internet adresinden görülebilir: [http://cert.bosch-](http://cert.bosch-carmultimedia.net)

[carmultimedia.net](http://cert.bosch-carmultimedia.net)

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário,

isto é, não tem direito a proteção contra

interferência prejudicial, mesmo de estações do

mesmo tipo, e não pode causar interferência a

sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機管理辦法 規定：
第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，

指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시

R-CMM-RBR-ICC651N

상호 : Robert Bosch Car Multimedia

GmbH 모델명 : ICC6.5in

기자재명칭 : 특정소출력 무선기기

(무선데이터통신시스템용 무선기기)

제조사 및 제조국가 : Robert Bosch Car

Multimedia GmbH / 포르투갈

제조년월 : 제조년월로 표기

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

- A**
ABS
技術情報, 134
自己診断, 122
操作する, 63
操作部, 19
表示, 44
- ASC
技術情報, 137
自己診断, 123
操作する, 65
操作部, 19
表示, 46
- B**
Bluetooth, 96
ペアリング, 97
- D**
DTC
OFF にする, 67
ON にする, 67
インジケータ / 警告灯, 47
技術情報, 137
操作する, 67
- DWA
テクニカルデータ, 216
- Dynamic Brake Control, 141
技術情報, 141
- E**
ESA
操作する, 68
操作部, 19
- H**
Hill Start Control, 76, 144
オン / オフ, 77
技術情報, 144
作動不可, 50
操作する, 76
表示灯および警告灯, 50
- Hill Start Control Pro
技術情報, 144
操作する, 77
調整する, 78

- K**
Keyless Ride
イグニッションを OFF にする, 57
イグニッションを ON にする, 57
警告表示, 38, 39
タンクキャップをロック解除する, 129, 130, 131
電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 58
ハンドルロックをロックする, 56
無線キーの紛失, 58
- P**
Pairing, 97
Pre-Ride-Check, 121
- R**
Rider's Manual
車両における位置, 18
- あ**
アクセサリ
一般的な情報, 180

値
表示, 28
安全に関する注意事項
ブレーキ, 125
ライディングにあたって, 118

い
イグニッション
OFF にする, 55
ON にする, 54
イグニッションキルスイッチ, 21
操作する, 60
インジケーター / 警告灯, 22
全体図, 24

う
ウインカー
操作する, 62
操作部, 19
操作部(右側), 21
ウインドシールド
調整する, 108

え
エアクリナー
車両内の位置, 17

エンジン
エンジンエレクトロニクス警告
表示, 43
エンジンコントロール用警告表
示, 43
始動, 121
テクニカルデータ, 208
エンジンオイル
エンジンオイルレベル用警告表
示, 42
充填レベルを点検する, 151
注入口, 17
テクニカルデータ, 208
電子的なエンジンオイルレベル
調整, 42
フルードレベル表示, 17
補充する, 152
エンジン回転数表示, 22
エンジン回転数表示, 93
エンジン始動ロック
スペアキー, 55, 58

お
お手入れ
クローム, 195
塗装 / シーリング, 196
オンボードコンピューター, 82

か
外気温度
表示, 38
路面凍結警告, 38
型式プレート
車両における位置, 17

き
キー, 54, 56
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 94
ギヤボックス
テクニカルデータ, 210
給油, 128, 129
Keyless Ride 装備, 130, 131
燃料品質, 128

く

- クーラント
 - オーバーヒート用警告表示, 42
 - 充填レベルを点検する, 157
 - 補充する, 157
- クラッチ
 - 機能を点検する, 157
 - クラッチを調整する, 110
 - テクニカルデータ, 209
 - ハンドルレバーを調整する, 110
- グリップヒーター
 - 操作する, 81
 - 操作部, 21
- クルーズコントロール
 - 操作する, 73

け

- 警告灯, 22
 - 全体図, 24
- 警告表示
 - ABS, 44
 - ASC, 46
 - DTC, 47
 - Hill Start Control, 50
 - エンジンオイルレベル, 42

- エンジンコントロール, 43
- エンジン電装, 43
- ギア未学習, 50
- クーラント温度, 42
- 車両電装システム電圧, 39
- 転倒検知センサー, 44
- 盗難警報装置, 41
- 表示, 28
- フューエルリザーブ容量, 49
- ライトバルブの故障, 40
- 路面凍結警告, 38
- 私の車両, 100
- 警告表示一覧, 31
- ケース, 181

こ

- コンビネーションスイッチ
 - 左側面, 19
 - 右側面, 21

さ

- サービス, 221
 - サービス履歴, 222
- サービス表示, 51
- サスペンション
 - テクニカルデータ, 212

し

- シート
 - 高さ調整の位置, 18
 - 脱着する, 83
 - ロッキングハンドル, 15
- 始動, 121
 - 操作部, 21
- 始動補助, 170
- シフトアシスト, 124
 - ギア未学習, 50
 - 技術情報, 142
 - 走行, 124
- シフトレバー
 - ステップパーツの調整, 111
- 車両
 - 再使用する, 197
- 車両識別番号
 - 車両における位置, 17
- 車両電装システム電圧
 - 警告表示, 39
- 重量
 - 積載荷重一覧, 18
 - テクニカルデータ, 217
- 仕様(諸元)
 - 一般的な情報, 7
 - エンジン, 208

エンジンオイル, 208
規格, 7
ギヤボックス, 210
クラッチ, 209
サスペンション, 212
重量, 217
スパークプラグ, 215
寸法, 216
電装システム, 215
盗難警報装置, 216
燃料, 207
バッテリー, 215
ブレーキ, 212
フレーム, 211
ホイールとタイヤ, 213
ライトバルブ, 215
リヤホイールドライブ, 211
ショックアブソーバー
調整エレメント(リヤ), 15
調整する, 116
診断コネクター
固定する, 176
緩める, 176

す

ステアリングロック
ロックする, 54
スパークプラグ
テクニカルデータ, 215
スピードメーター, 22
スプリングプリロード
調整エレメント(リヤ), 17
調整する, 114
寸法
テクニカルデータ, 216

せ

制限速度情報
オンまたはオフにする, 93
全体図
TFT ディスプレイ, 25, 27
シート下, 18
左コンビネーションスイッチ, 19
左側面図, 15
表示灯および警告灯, 24
右コンビネーションスイッチ, 21
右側面図, 17

メーターパネル, 22
私の車両, 100

そ

走行モード
技術情報, 140
走行モードPRO を設定する, 72
操作部, 21
調整する, 71
操作焦点
交換する, 91
装備, 7

た

タイヤ
充填圧, 214
充填圧表, 18
タイヤ空気圧を点検する, 158
テクニカルデータ, 213
トレッドの溝の深さを点検する, 158
慣らし走行, 124

ち

チェックコントロール
ダイアログ画面, 28
表示, 28

チェックリスト, 120
駐車, 127

つ

ツールキット
車両における位置, 18
標準スペシャルツールキ
ット, 148

て

TFT ディスプレイ, 22
全体図, 25, 27
操作する, 90, 91, 92
操作部, 19
表示を選択する, 87

電源ソケット

車両における位置, 17
使用上の注意, 180

電装システム

テクニカルデータ, 215

転倒検知センサー

表示灯, 44

電話

操作する, 105

と

盗難警報装置
警告表示, 41
操作する, 79
表示灯, 22

時計

調整する, 95

トップケース
操作する, 183

トラクションコントロール
ASC, 137
DTC, 137

トラブルシューティング, 200
トルク, 204

な

ナビゲーション
操作する, 103
慣らし走行, 123

に

荷物

積載に関する注意, 118

ね

燃料

Keyless Ride 装備の場合の給
油, 130, 131
給油する, 128, 129
注入口, 15
テクニカルデータ, 207
燃料品質, 128

は

パーキングライト, 61
ハザードランプ
操作する, 62
操作部, 19, 21

バッテリー

仕様(諸元), 215
接続しているバッテリーを充電
する, 171
取り付ける, 173
取り外す, 172
外したバッテリーを充電す
る, 172
ボードエレクトリック電源電圧
に関する警告表示, 39
メンテナンスに関する注
意, 171

バルブ

- LED テールライトを交換する, 169
- LED ヘッドライトの交換, 169
- LED 補助ヘッドライトを交換する, 169
- ウインカー, 168
- テクニカルデータ, 215
- バルブの不具合に関する警告表示, 40

ひ

Pure Ride

- 全体図, 25

ヒューズ

- 交換する, 175
- テクニカルデータ, 215

ふ

- フォロミーホームライト, 54, 61
- フューエルリザーブ容量
警告表示, 49
- 走行可能距離, 94

ブレーキ

- ABS Pro の詳細, 136
- ABS Pro は走行モードに対応, 126
- 安全に関する注意事項, 125
- 機能を点検する, 153
- テクニカルデータ, 212
- ハンドルレバーを調整する, 112
- ブレーキペダルを調整する, 113
- ブレーキパッド
慣らし走行, 124
- フロントを点検する, 153
- リヤを点検する, 154
- ブレーキフルード
フロント充填レベルを点検する, 155
- フロントリザーバタンク, 17
- リヤ充填レベルを点検する, 156
- リヤリザーバタンク, 17
- ブレーキレバー
ブレーキレバーを調整する, 112

フレーム

- テクニカルデータ, 211
- フロントホイールスタンド
取り付ける, 149

へ

ヘッドライト

- 光軸, 109
- 光軸の調整, 15

ほ

ホイール

- サイズ変更, 159
- テクニカルデータ, 213
- フロントホイールを取り付ける, 161
- フロントホイールを取り外す, 159
- ホイールリムを点検する, 158
- リヤホイールを取り付ける, 164
- ホーン, 19
- 本書の記述について, 8

- ま**
マフラー
マフラーを取り付ける, 166
マフラーを取り外す, 165
- み**
ミラー
調整する, 108
- め**
メンテナンス
メンテナンススケジュール, 225
メンテナンススケジュール, 222
メーターパネル
周囲輝度センサー, 22
全体図, 22
メディア
操作する, 105
メニュー
呼出し, 90
メンテナンスの確認, 226
- も**
モーターサイクル
お手入れ, 193
固定する, 132
清掃する, 193
駐車, 127
長期保管, 196
モバイルサービス, 222
- ら**
ライダー情報ステータス欄
調整する, 92, 93
ライト
操作部, 19
パーキングライト, 60
ハイビームヘッドライトを操作する, 60
パッシングライトを操作する, 60
フォロミーホームライト, 61
補助ヘッドライトを操作する, 61
ロービーム, 60
- り**
リサイクリング, 220

- リモートコントロール
バッテリー交換, 59
リヤホイールスタンド
取り付ける, 150
リヤホイールドライブ
テクニカルデータ, 211

- ろ**
ローダウンサスペンション
制限, 118

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

© 2018 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

